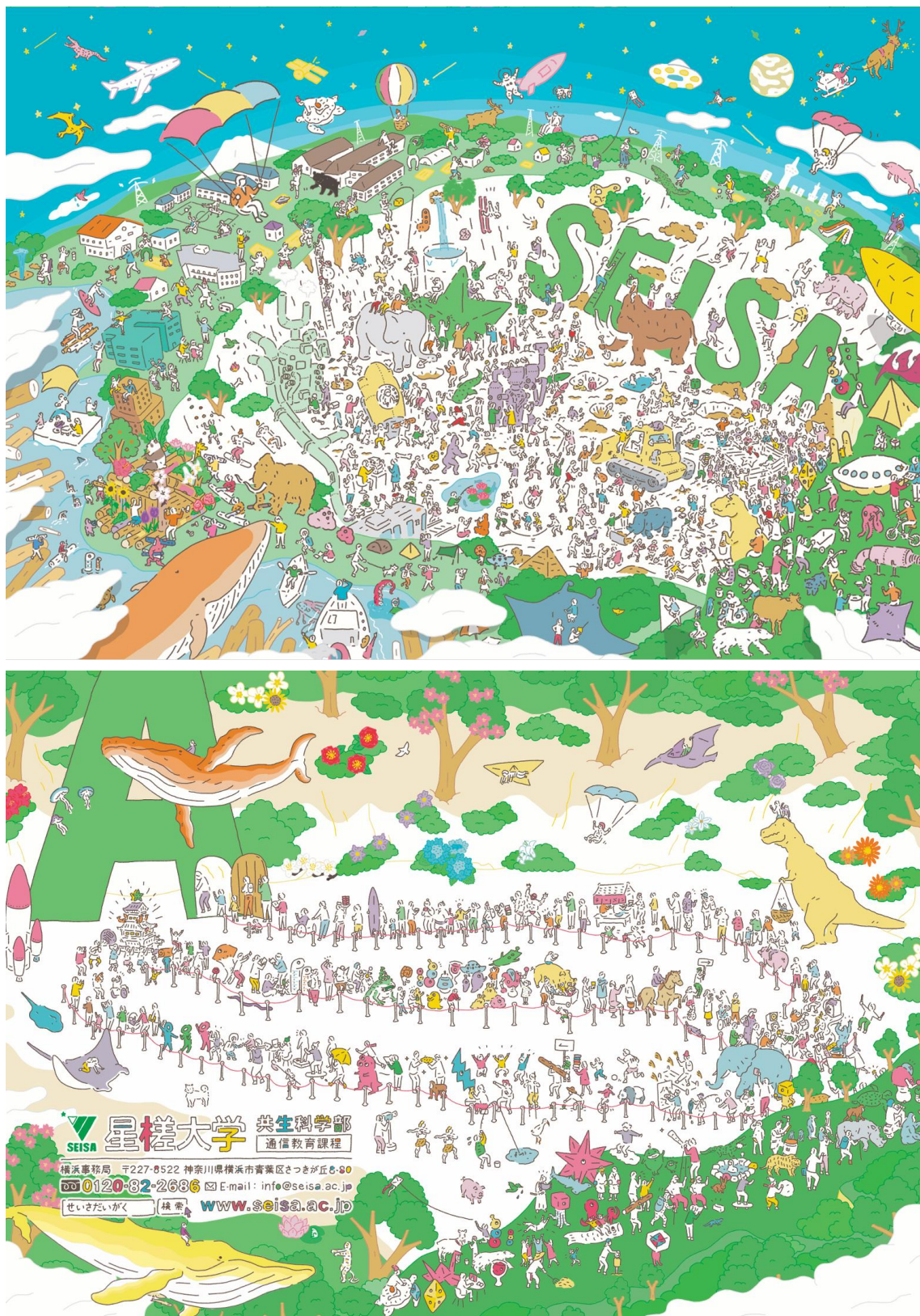
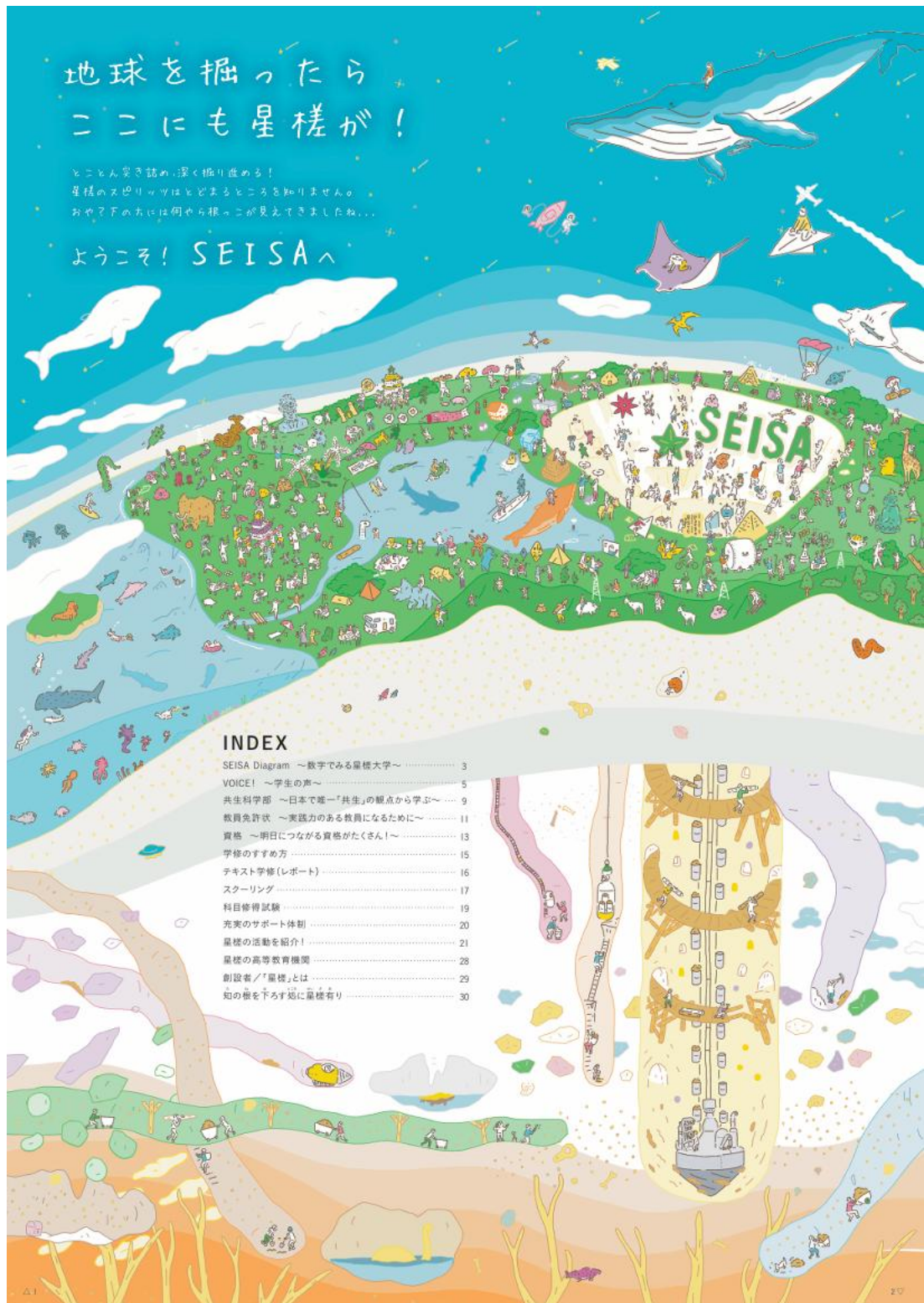








先生方の
温かみを
感じる指導



杉崎 友紀さん (20代/神奈川県)

何から始めればいいのか分からず困っていた時、担任の先生(マンツーマン指導員)に相談したらきめ細やかに対応してくれました。異業種じりの話も聞いてくれるので、先生の存在はとて大きいです。
また、マンツーマン指導員の先生に限らず、各科目の先生方もいつも優しく対応してくれるので、とても安心です。先生方からのアドバイスもあって、今年度全ての単位を無事に修得することができました。この報告をしたのも一絶に喜んでくれて、すごく嬉しかったのを覚えています。将来的には、どんなことでもできる場を作りたいと考えているので、大学の学びとともに、小学校の教員後援児童クラブでアルバイトしながら、こども達との関わり方を実践的に学んでいきたいと思っています。

プロラグビーと
学業の両立!



内田 啓介さん (30代/群馬県)

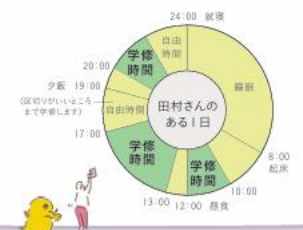
星陵大学の学修内容はもちろん良いのですが、ラグビー選手として活動している私にとって、受講方法も選択可能なところが特に良い部分だと感じています。時期や場所により受講できないことも多くあるのかなと心配していましたが、選べる日程や受講方法があった以上にあったので、受講しやすかったです。
また、自己学習から始める学びのスタイルは、学びも深くなり、合理的だと感じています。
ラグビー選手として活動している中で、オフシーズンに集中して学修するなど、自分の予定に合わせて学ぶことができるので、助かっています。

わかりやすく、
学びやすい
オンライン学修!



田村 果穂さん (20代/静岡県)

私は他大学に通いながら、星陵大学で特別支援学校の教員免許取得を目指しています。
学び方がいまいちわからず、事務局の方に心配なことや不安なことを相談した際に、解決方法をいろいろと考えてくださり、自分にあった学修計画を組み立てることができました。また、先生方は、私の学修上の悩みに対して親身にご対応くださり、質問にも丁寧に答えてくださいました。私のおすすめ科目は、「発達障害概論」。先生の話や動画がとてもわかりやすかったです。オンラインのスクーリングでしたが、先生が黒板を使いこなしていたので、安心して授業を受けることができました。



VOICE!

【学生の声】

振替り変換り聞きました!

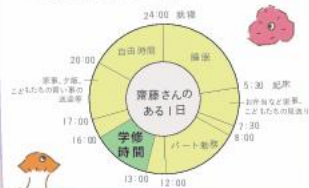
素晴らしい
大学!



齋藤 悠加さん (30代/宮城県)

入学を来年にも決まっていたが、星陵大学に入学してから人生が豊かになりました。学んだことは、実生活でものすごく役に立っています。また、卒業後、就職先で活躍したいと考えています。今後は学んだ知識や考え方を家族や社会で実践し、経験を蓄積していきたいと思っています。また、将来は、小学校の教員免許を取得して、こどもや保護者に寄り添える職に就きたいと考えています。星陵大学に入学することになったみなさんに誇りを伝えてあげたいです。

「星陵大学は素晴らしい大学です」。



夢の実現に向けて
ダブルスクール!



田井 花佳さん (20代/大阪府)

私は通学制の大学で中級の教員免許を取得したのですが、卒業後は引き続き学びたいと思い、教職大学院に進学しながら、小学校の免許も取得したいと考えていました。
在籍している大学院で小学校の免許取得を目指す場合、3〜4年はかかると思われると思いますが、星陵大学の存在を知りました。なかなかダブルスクールを思われていた大学がない中、星陵大学では今の大学院に在籍しながら学ぶことができたので、とても助かりました。

週末はリングに立つ男!
平日教壇に立ち、
週末はリングに立つ男!



中島 美玲さん (10代/神奈川県)

「共生」で考え方が広がりました!

星陵大学では、仲間や先生の意見や経験をたくさん聞くことができ、自分の考えを広げることができました。中でも「星陵学」という科目のスクーリングが特に、今まで持っていた考え方が変わるような体験をしました。
「共生」について学んだことで、互いを尊重し合う気持ちを持てるようになっていこうと感じます。いろいろな個性を尊重しながら過ごすことを自然と意識し、周りとは比べず、自分を持ちつていこうと考えるようになりました。



大原 はじめさん (30代/神奈川県)

大学での学びは、「勉強している」という感覚ではなく、知らないことを知るという楽しさまでいっぱい。プロレスと格闘技を体験しているような感覚です。学ぶことで知的好奇心をくすぐられ、自分のために吸収している状況なのでとても充実しています。
大学卒業と教員免許取得を両立できたことは、本当にスペシャルな経験をしたいと考えています。10代でメキシコに渡った留学生として特別な経験をしたことで、プロレスラーとして特別な経験をする夢もこれからは実現したいと思っています。

長島 俊記さん (20代/東京都)

最も教員免許取得が
取りやすい環境



星陵大学には教育関係をよく知る教員が多く在籍し、教育について過剰な心配や不安を感じることがありません。また、教員の方々は教育に対してとても熱心で、サポートも丁寧で、星陵大学で教員免許取得を目指す方は、他のどの場所でも取れないのではないかと思うほど、教員免許取得しやすい環境です。

諸富 乃彩さん (20代/大阪府)

学業とやりたいこと両立することができる大学!

みなさんには、私のように1回きりの人生、限られた時間の中で、他人の目を気にせず、やりたいことを思いっきりやって、後悔しない選択をしてほしいと思っています。星陵大学は、自分の時間を自由に使って学ぶことができるので、満ち足りた生活を送ることができる大学です。誰にも負けないくらい自分の人生を楽しみましょう!

自分の夢が
実現できる場所



石澤 大翔さん (20代/神奈川県)

高校卒業後、社会人チームに所属して、オリンピックを目指しながら競技と学業を両立しています。影から方々で競技に行き、人々でいるため、事務局の方に学修の進め方やわからないことを聞きながら自分のペースで学ぶことができています。競技と学業のバランスもとれていますので、ストレスなく学び続けることができていると感じています。将来は、自分の経験を活かして、こどもに夢を動かす楽しさを伝えられる指導者になりたいと思っています。

マンツーマンでサポートしてもらえー！



古郡 健太郎さん (20代/北海道)

特別支援学校の教育実習では、事前指導スクーリングだけでなく、実習中も指導の機会を設けられていたことで、不安なことが多かったことを解消しながら実習をやりきることができました。また、システム上の疑問点など、小さいことでも事務局の職員の方々が丁寧に対応してくれるので、ストレスを感じることなく学修に取り組むことができています。不安もあると思いますが、ワクワクした気持ちで入学してください！素晴らしい未来があなたを待っています！

学び続けることの大切さ、楽しさを教えてくれる場所



吉川 理絵さん (20代/兵庫県)

コロナ禍でスクーリングや実習がオンラインになってしまい残念でしたが、実際に現場で活躍されている先生方から沢山のアドバイスをいただいたおかげで指導案を書き上げることができ、1年間で日本語教師の資格を取得することができました。先生方の熱心で温かい指導と事務局の方々のきめ細やかなサポートのおかげで進めています。

日本語関連の科目は、資格取得として何気なく使っている日本語についての新しい発見がたくさんあり、とても面白かったです！ぜひおすすめします！

迷っているなら星の怪(い)かに飛び乗って！



中山 美穂さん (20代/神奈川県)

迷っているならぜひ、星怪というイカダに飛び込んでみてください。きっと視野や視座を広げ、これまでの自分より少し成長した自分に出会えるはずです。星怪での学びは、人生を切り開いてくれる糧となるでしょう。一緒に学び合える日を楽しみにしています。困ったことがあれば、いつでも教職員の方に相談で大丈夫ですよ！



学修時間

時間	内容
23:00	就寝
0:00	起床
8:00	朝の準備
9:00	通勤 (通勤時間中に無料レッスンを受講しています)
19:00	帰宅 (通勤時間中に無料レッスンを受講しています)
23:00	就寝

中山さんのある1日

一人ひとりのストーリーを掘り下げて聞いてみました！

VOICE!

【学生の声】



石丸 誠さん (30代/佐賀県)

学びやすさ、面白さが入学の決め手！

仕事をしながら空き時間を使って勉強できる大学を探すために、情報員で行われた特別説明会に参加していたところ、星怪大学に出会いました。その説明会で丁寧に説明していただき、元々タイマーにあった通信制の仕組みもなく、仕事をしている人も取り組めることや、感じたこと、ホームページやパンフレットの内容やデザインが面白いと思ったので、入学を決めました。



佐方 俊仁さん (20代/熊本県)

たくさんの人と楽しく学べる大学

私が学修上で悩んでいる時、教職員の方々がとても親切に個別対応をしてくれました。スクーリングでは、講義内容やレポートについて直接質問することができ、「さらにこの分野を学びたいなら、この書籍がおすすめです。」など、詳しく指導してくれました。

星怪大学のスクーリングでは、幅広い年齢の学生と共に学びます。さまざまな人と関わることでありますが、関わる先生方とも話す機会があり、貴重な経験を聞くことで、将来の目標がより明確になりました。



ケセテ ハプテションさん (20代/エチオピア)

知恵の泉

私は将来、留学生に日本語を教えたいと考えており、そのために星怪大学では日本語教師の資格取得に向けて、日々学んでいます。

「日本語教育」という科目のスクーリングでは、グループディスカッションの時間が多く、相手の経験などを聞くことで、自分の知らないことを学ぶことができました。

たくさんの経験を持った人々と交流することは、自分にとってとても力になっていて感じています。



石本 スミ子さん (30代/北海道)

学ぶことに年齢は関係ない

星怪大学の学びは家族や地域の方々とコミュニケーション等でプラスになっていると思うことが多くあります。例えば、休みのことを考える時、もっと早く学んでおけば、「あれ、これも学んでおけば良かった」と感じることもあり、これからは学び続けなければならないと考えています。

星怪大学は若い方々のための学びだけではなく、すべての方が学べる科目がたくさんあります。私は、この大学との出会いがとても楽しく思うと同時に柔軟な対応してくれる教職員の方々のことも大切に思っています。

私の人生を教つてくれた大学



柿崎 裕太さん (20代/北海道)

星怪大学は、人生の行き先を共に歩いていた時に、教員免許状取得という希望を伝えてくれました。そしてその希望は実現になり、教員、中途退学の教員免許状を取得し、現在は高等学校で英語の教員として勤務しています。コロナ禍ということもあり、一度も会場に行きませんが、大学の先生方とは直接会うことはできませんでしたが、オンラインでもとても迅速に感じました。星怪大学が初めてです。

人との繋がりを感じられる通信制大学



宮澤 悦子さん (40代/愛知県)

星怪大学には、学ぶ人のことをよく考えてくれる先生や、「二人を先生になりたいな」と思わせてくれる先生がいます。困った時はメールで相談すると、アドバイスもすぐいただけるので大変ありがたかったです。やってみようと思ったから飛び込んでみる。困ったらすぐに相談しよう！

また、Zoomでのディスカッションを通じて、たくさんの仲間が勉強を頑張っているのだと実感することができたので、自分も頑張ろうと頑張りました。学生だけの生活は少ないはずなのに、すっかり居場所のように感じています。

仲間と楽しく夢を叶える



白壁 敬太さん (20代/兵庫県)

僕は小さい頃からスポーツや多くの資格を経験して、卒業後(現・会社)の先任と職員になりました。進路で迷った時、星怪大学のどちらを目指すべきか迷っているとき、通っている大学と星怪大学が教育連携していることを知り、迷った気持ちをとりながら職員免許状も取得できるというので、入学を決めました。

星怪大学では、先任職員のサポート(科目)でも、スクーリングが終わる頃には必ずそのスポーツが大好きになります。実技授業の後、先生と先輩生みんなでご飯に行き、色々なお話をすることがいい思い出になっています。

日本で唯一、「共生」の観点から分野を超え横断的に学ぶ

共生科学部

従来の縦割りや知偏重型の教育を行う学問分野ではなく、「共生」をコンセプトに、
日常のあらゆる切り口から分野を超えて横断的に学びを深めることができる新しい学問分野です。

共生でつながる 5つの専攻

共生科学専攻

共生科学部の中心となる、教育、特別支援、環境、国際関係が連携するカリキュラムで構成されています。共生科学を中心に学び、学士取得を目指す方や、中学校社会や高等学校地理歴史・公民、特別支援学校の教員免許状の取得を目指す方が対象です。

初等教育専攻

初等教育を中心としたカリキュラムで構成されています。幼稚園教育要領、小学校学習指導要領に沿った科目を多く開講し、実践力を高める指導をそれぞれの科目で行っています。幼稚園もしくは小学校、または両方の教員免許状の取得を目指す方が対象です。

福祉専攻

福祉を中心としたカリキュラムで構成され、社会福祉士国家試験受験資格の取得を目指す方が対象です。社会福祉士国家試験受験資格取得を目指す場合、「福祉専攻」での受験資格を得ることができます。共に生きる観点から福祉を考えていきます。

グローバルコミュニケーション専攻

グローバルな視野で考え、ローカル（地域や国）の視点で行動する力を身につけることを目指し、そのための手段として「英語」を中心とした教育と研究を行うカリキュラムで構成されています。主として、英語（中・高）の教員免許状の取得を目指す方が対象です。

スポーツ身体表現専攻

スポーツ身体表現を中心としたカリキュラムで構成されています。スポーツから得ることができるいろいろな関わりや経験、学びなどを通して、共生社会の実現を考えていきます。主として、保健体育（中・高）の教員免許状の取得を目指す方が対象です。

スポーツ

スポーツで共生を考える

スポーツの楽しさや面白さを体験しながら、障がいの有無や年齢、性別を超えたスポーツの在り方を考え、スポーツはもともと、体育、健康などの課題を解決する力を身につけていきます。

福祉

“あたりまえ”の心で人を思いやる

社会的な障がいがあるということや福祉を考えるのではなく、共に生きるという観点から、お互いを理解し、相手のために何ができるのかを考え、実践できる専門家を養成します。

教養

広い知力を身につける

大きな社会的変動の中で、現状を受け止め、未来に向かってどのような目標に向かふべきかを考え、実現のために主体的に行動していく力を持つための教養科目を開講しています。

教育

生きる力を育てる

時代の変化や社会の情勢に適切に対応した科目を開講しています。共生という観点からそれぞれの科目の横断性を意識し、多様な社会の創造に貢献できる人材養成を目指しています。

国際

広い視野を持ち社会を変える

歴史や文化、価値観が異なる「国と国」、「民族と民族」が関わり合える関係を開き、共に生きていくための方法を実際に即して学び、社会を変えていく力を身につけていきます。

環境

地球規模で環境を学ぶ

人と自然が共に生きるという視点から多角的に学び、複合的な視点で情報収集・状況把握・分析・判断することにより、環境問題や課題を通して、解決する力を身につけていきます。

資格専門

専門性をはぐくむ

関心や将来の目標、目的に応じて専門性を深める科目を開講し、免許状や資格取得を目指します。高度な専門性を身につけるために必要な科目であり、キャリア形成に大きく役立ちます。

特別支援教育 皆が学ぶべき特別支援

特別支援教育とは特別なものではなく、多様性を尊重し、共生社会の形成には必要不可欠な学びのひとつです。皇徳大学の特別支援教育は、「障がいのあるなしに関わらない」教育分野として多くの科目を開講しています。さまざまな観点から特別支援教育を考え、インクルージョンについて学びたいです。

課題探究 日常のすべてが学びになる！

社会において特に必要とされる力は知識よりも課題探究能力だと考えています。東社会や東生活の中で、課題を発見し、主体的・協働的に探究していきます。教科・科目の枠にとらわれない多角的で複合的な視点で事象を捉え、課題解決していく力を育成するための科目を多岐開講しています。

先生になりたい!

教員免許状

～実践力のある教員になるために～



本学では、すべての学校種の
教員免許状取得が可能です!

教員免許状

幼稚園教諭 1種・2種

小学校教諭 1種・2種

中学校教諭(社会・保健体育・英語) 1種・2種

高等学校教諭(地理歴史・公民・保健体育・英語) 1種

特別支援学校教諭 1種・2種 (知的障害者、肢体不自由者、病弱者、情緒)

星槎のネットワークがサポート!

- 星槎もみじ中学校
- 星槎国際高等学校
- 星槎大学大学院
- 星槎中学校
- 星槎名古屋中学校
- 星槎高等学校
- 星槎学園 初等部・中等部・高等部
- 星槎道都大学
- 治保連典型 認定こども園 ピーターパン幼稚園



学校ボランティア、教育実習等は
星槎グループ内でも行うことが可能です。

- 幼保連典型 認定こども園 青葉台幼稚園
- 野川南台保育園
- ティンクル上野川保育園
- ティンクル瀬谷保育園
- ティンクルくぬぎ保育園

など



学修内容、方法をカスタマイズ!

「所有免許状にプラスして他の免許状取得を目指したい」、「同時に資格取得を目指したい」、「他大学で一部修得済みの単位があるので残りの単位のみ修得したい」など、一人ひとりの状況に応じて個別に適切な取得方法、必要科目をご案内しています。



充実したスクーリング

教員免許取得のための必要科目の多くはスクーリングが必須となっています。そのため、最新の教育事情を踏まえた設備を整えることももちろん、その場で疑問点を解決し、次の日から実践できることも本学教職課程の魅力のひとつです。



□インクルージョン教育

これからの教員に求められる能力として「発達障がいを含む特別な支援を必要とする児童・生徒等への理解と対応」が挙げられます。星槎大学では、特別支援教育の最新動向や実践について専門的に学べる多様な科目や資格を開設しています。副教員の方はもちろん、行政や教育、医療、福祉、スポーツに関わる方、保護者の方も多く学んでいます。



通信制大学で
唯一!

保健体育の 教員免許状

通信制課程の大学として唯一、中学校、高等学校の保健体育の教員免許状取得が可能です。これからの教員には「生きる力」を育成する教育を行うことが期待されていますので、社会人としての経験や、プロスポーツ選手などの貴重な経験は、学校教育の現場で活かすことが可能です。



【星槎大学附属教職総合支援センター】

みなさんの教員免許状取得にあたって、教職の専門家が日々サポートします。必要単位数の確認や個別の履修モデルの作成、履修相談等を土日や祝日もメールや電話、オンラインにて行っています。教員免許状取得に向けての心強い味方です。

【教職課程ガイダンス】

教育実習や介護等の体験の実施にあたって、星槎大学の教員養成の考え方や準備のほかに、同じ志を持つ仲間とのグループディスカッションによって、しっかり準備することができます。また、動画にて教員免許状申請の流れやスケジュールなどについて掲載することができますので安心です。

【星槎教育実践研究会】

大学生、大学院生、卒業生やグループ内の教育機関の教職員が共に教育実践研究を行うことにより、優れた実践的指導力と高度な専門性を兼ね備えた教員になることを目指します。また、お互いの実力の場として活用されています。

【教員採用試験対策講座】

毎年、春と秋に教員採用試験対策講座を実施しています。教員採用試験の最新情報のほか、論文文、面接、場面指導、模擬授業等について実践的な内容を学び、自信をつけて教員採用試験に挑むことができます。採用試験合格者の体験談は毎年好評を得ています。

教育実習の 心強い味方

学校ボランティアで
実践を体験!



教育実習年度には、実習担当教員が学生一人ひとりに個別のサポートをします。これからの時代に求められる実践力のある教員を養成するため、100%の個別指導体制を整えています。教育実習に向けての相談や指導等についてのアドバイスなど、実践力を高める指導を教職総合支援センターと連携して行っています。また、教育実習の一環に学校ボランティアとして学校現場に足を運ぶことを積極的にご案内しています。学校現場は常に進化していますので、状況や児童・生徒の様子を知り、自己の課題を受け止め、教育への考えを深めること、実践力を高めることを目的としています。



知識を得るためだけじゃない！

資格

～明日につながる資格がたくさん！～

社会福祉士(国家試験受験資格)

共に生きる観点から“あたりまえ”の心で福祉を考える

身体や精神の障がい、または環境上の理由のために日常生活を送ることが難しい方々に対して、福祉についての相談を受け、助言や指導などの援助を行うことが社会福祉士の主な仕事です。こどもから大人まで幅広い年代を対象としており、分野も多岐に渡るので、今後の日本社会において、ますます活躍の場が広がる資格です。

●実習のフォロー体制

本学では、実習をしっかりと行い、実践力を身につけてもらうため、学生一人ひとりに担当教員がついて、サポートしています。また、実習日は平日週3日以上で調整、実習先は「大学の登録施設」、「期間延長施設(自己開拓)」のいずれかを選べるため、自由度が高く、ご都合に合わせて実習を行うことができます。

●福祉特別講義

本学では「福祉特別講義」を開講しています。昨今の多様化する福祉問題について考えていく講義を行い、さまざまな福祉現場で活躍している卒業生や専門家をゲストスピーカーに迎え、福祉問題の現状を把握し、その問題の解決策を一緒に見出していきます。

●星陵大学ならではの福祉専攻

資格を取得することを目指す、社会のなかで関わりあっている分野を学びながら、実践的に活躍できる社会福祉士を目指します。また、個別対応できるよう少人数制の専攻となっています。そのため、学生と教職員との距離が近くアットホームな雰囲気であるのも特長の一つです。

社会福祉士を目指す皆様へ

現代社会において、人々の「福祉」に対するニーズはこれまで以上に多様化、複雑化しています。そこで、社会福祉の領域で働く人々には、広い視野と深い知識、そして豊富な実践力が必要となっています。中でも、ソーシャルワーカーと呼ばれる社会福祉実践の専門家は、人の尊厳や社会的公正という価値に基づき、個人へのサポートから法制度や社会の仕組みづくりまで、たいへん幅広い役割が求められます。このソーシャルワーカーについて、我が国で国家資格化したのが「社会福祉士」で、定められたカリキュラムに沿って福祉に関わる諸分野の学修を進め、現場実習を行うなどして、一定水準の人材の育成が目指されています。とはいえ、「共生」を謳う本学は、「人を認める、人を想い、仲間を作る」という3つの約束のもと、社会に必要とされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げることを精神としています。共生社会の創造とは、誰もがその人らしさを損なわれることなく、他者と共に生きていく道であり、これはソーシャルワークの理念と完全に合致しています。その意味で、本学における福祉専攻、そして社会福祉士養成課程は、共生という視点から福祉をとらえ、理論、国際、教育といった関連諸分野の学びと併せて包括的な学修を進め、いけるところに大きな特長があります。皆さん、これからの社会で活躍できる社会福祉士を目指して、一緒に歩みを進めて参りましょう。



共生科学部 共生科学科
福祉専攻
教授 堀越由紀子

“あたりまえ”
の心で
福祉を考える。

【社会福祉士 任用資格】

一般的に福祉事務所などの行政機関で働く場合に必要となる資格です。また、福祉施設で働く場合の資格としても活用されています。

※福祉士は行政機関に勤務する場合は必ずしも科目は不要です。卒業することにより取得できます。
詳しくは「科目履修ガイド」をご覧ください。

【児童指導員 任用資格】

児童厚生施設や児童養護施設などの児童福祉施設において、こどもたちの保護や生活指導にあたる職員のことをいいます。「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」によって定められる資格要件を満たすことが必要となります。

※本学では、児童指導員、福祉専攻を卒業するほか、指導員として採用試験に合格し、卒業することにより取得することができます。詳しくは、各教職とお問い合わせください。

教育とカウンセリングの両方に 知識と技能を有する教育の専門家

教育カウンセラー/ピアヘルパー

【日本教育カウンセラー協会認定】

指定科目の単位を取得することにより、教育カウンセラー/ピアヘルパーの受験資格を得ることができます。教育カウンセラーは、「教育とカウンセリングの両方に知識と技能を有する教育の専門家」であり、こどもたちの「生きる力」を育む支援をする資格です。

すべてのこどもに寄り添い学校生活を支援する
～心理に強い保育士や教員の育成～

准学校心理士

【学校心理士認定資格候補認定】

学校生活での問題について、カウンセリングなどによるこどもへの直接的援助を行うとともに、こどもを取り巻く保護者や教員、学校に対して「学校心理学」の専門的知識と技能をもって、心理教育的援助サービスを行うことのできる方に対して認定される資格です。

自閉症スペクトラムを理解し、 よりよいサポートの方法を学ぶ

AS(自閉症スペクトラム)サポーター

【日本自閉症スペクトラム学会認定】

AS(自閉症スペクトラム)サポーターとは、独特な世界に生きる自閉症スペクトラムの人たちが、社会で心地よく生活できるようにサポートする人のことをいいます。自閉症の理解とともに自閉症スペクトラムの人たちとの共生をすすめるため、基本的な知識とサポートの方法を修得した方に、日本自閉症スペクトラム学会が認定する資格です。

こどもたちを引きつける
外国語の授業力を学ぶ

小学校外国語活動指導者

小学校の現場では、これまで以上に英語力が求められています。この講座では、実践力を身につけるためのさまざまな指導方法を通して学び、英語を専門に学んでいる方や、苦手と感じている方もぜひ挑戦してください。

文部科学省認定 履修証明プログラム

履修証明制度とは、社会人等を対象とした一定のまとまりのある学習プログラム(履修証明プログラム)です。修了者には、単位を認定することができ、学校教育法に基づく履修証明書を交付します。学びたい分野の知識や技術を体系的に学ぶことで専門性の向上につながるだけでなく、学んだことを履修書やジョブカードに書くことができるので、キャリアアップや転職、再就職に活用できます。

(学習修得単位は20年度及び21年度教育主幹行務規程(第14条第1項))

支援教育専門士



特別支援教育、発達障がいについての基本的な仕組みから、医学的見解や支援の方法、アセスメントの方法まで幅広く開設しており、教育、医療、福祉、スポーツに関わるすべての方々に段階で役に立つよう構成されています。特別支援教育について体系的な知識・技能等を修得できる独自のプログラムです。

福祉スポーツ指導員



福祉分野でスポーツの特性をいかして働くことを支援するプログラム

福祉現場で身体を動かすことの楽しさはもちろん、思い合う楽しさやコミュニケーションスキル向上を目指したスポーツの指導や支援の専門家を養成していきます。福祉現場で働きたい方や、教育関連の社会に貢献したい方、指導者としてのスキルを身につけたい方などにおすすめの資格です。

多文化共生社会の実現を目指す、日本語教育のスペシャリスト

日本語教師【法務省告示日本語教員養成課程校】

日本語を母語としない児童・生徒をはじめ、「生きづらさ」「生活しづらさ」を感じている方に幅広く日本語を教えるだけでなく、本学の教育理念に即って日本語教育を推進できる力を養成していきます。また、プログラムの組み合わせて外国語の障がい児・者に対して、寄り添った日本語教育を推進できるような学ぶことができます。

あなたに合った学びをカスタマイズ！

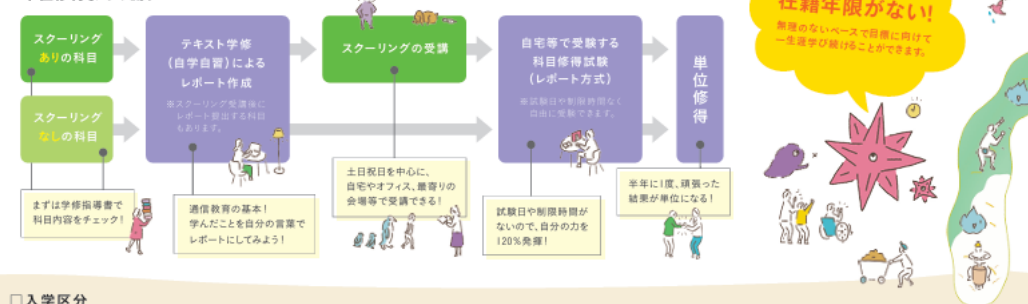
学修のすすめ方



生活スタイルは人それぞれ。
星城大学では、自分のライフスタイルやスケジュールなどの都合に合わせて
学修をすすめていくことが可能です。

都合の良い時間を自由に使って学びすすめていくテキスト学修、土日祝日を中心に開講しているスクーリング(自宅、会場等で受講)、
そして自宅等で受験できる科目修得試験、この3つを軸に科目ごとに単位修得を目指していきます。

□単位修得までの流れ



□入学区分

正科生

大学の卒業や資格の取得を目指す場合など、複数年にわたって学べる力に適合している入学区分です。
卒業要件を満たすことで、「学士(共生科学)」の学位を取得することができます。
正科生として学べる場合は、学びの目的によって専攻が異なります。

専攻	入学 区分	卒業に必要な 単位	卒業に必要な 在学期間
共生科学専攻(1年次編入入学不可)	1年次	124単位(30単位)	4年以上
初等教育専攻(2年次編入入学不可)	2年次	94単位(23単位)	3年以上
福祉専攻(3年次編入入学不可)	3年次	62単位(15単位)	2年以上
スポーツ身体表現専攻(3年次編入入学不可)	4年次	32単位(8単位)	1年以上
グローバルコミュニケーション専攻(3年次編入入学不可)			

※専攻により取得可能な教員免許状が異なりますので、複数の免許状等取得を目指す場合はご確認ください。詳しくは、「学修指導書」の「科目資格ガイド」をご覧ください。

科目等履修生

必要な科目のみを1年間で学ぶ場合や、他の大学などに通いながら星城大学の科目を学んでみたい場合に
適している入学区分です。また、教員としての勤務
経験を活かして教員免許状を取得する資格履修生
や、幼稚園教諭免許状特例資格の方もこの入学区
分に含まれます。科目等履修生として修得した単位
は、正科生としての入学後も活かすことができます。

特修生

大学への入学資格を持たない方が、本学で学
修を開始するための入学区分です。
特修生として本学で16単位以上修得すること
により、本人の申請に基づき審査のうえ、本学
の正科生1年次入学の資格が得られます。
本学でのみ有効なものであり、他大学に入学
する場合は適用されません。

《特別科目等履修生》

本学では卒業して「学士(共生科学)」取得後も、特別科目等履修生として学び続けることができます。
教員免許状や資格の取得、生涯学習、自分磨きの場として多くの方が学んでいます。

「読む」「考える」「書く」が楽しい！

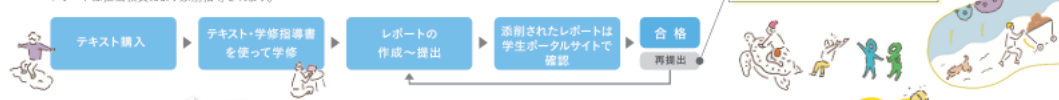
テキスト学修(レポート)



もし、テキスト学修に意欲を感じたら、LMS(Learning Management System)で
マンツーマン指導員や科目担当教員に質問をしたり、事務局へ相談をしたり、
学生同士意見交換するなどして、計画的にレポート作成をすすめていきましょう。

□レポート作成から提出の流れ

各科目のテキストと学修指導書により学修をすすめ、テーマにしたがってレポートを作成します。
レポートは担当教員により添削指導されます。



これを読んだら大丈夫！「学修指導書」

各科目の概要、学修のすすめ方、教科書、参考資料などがまとめられているほか、「学修
をすすめるうえでの「キーワード」や「レポートのテーマ・評価基準」が科目ごとに記載
されている学修指導書、テキスト学修をすすめるうえで心強い味方となりますので、テキ
ストと併用し、レポート作成を行ってください。また、わからないことは、科目担当教員に
直接相談できるよう教員のメールアドレスを公開しているので安心して学修に取り組む
ことができます。
学修指導書は学生ポータルサイトから無料で閲覧・ダウンロードできます。ご自身でダ
ウンロードできない場合は、印刷サービス(有料)も行っていますので、ご利用ください。

レポートの回数と量

単位数	レポートの本数	レポートの量
1～2単位	1本	1,600字程度
3～4単位	2本	

※科目により回数・量等が異なる場合があります。

レポートの作成方法と提出方法

レポートの作成は、「パソコン」「手書き」の2つの方法があります。完成したレポートは、
「オンライン」または「郵送」にて提出してください。

丁寧にあなたがレポート添削

担当教員が一つひとつ丁寧に添削し、評価を行った後、添削内容を学生ポータルサイ
トに掲載します。
レポートを提出してから返却されるまで科目によって異なりますが、1ヵ月ほどかかります
ので、早めの提出を心がけましょう。再提出になった場合は、担当教員のアドバイス(添
削)をしっかりと確認し、合格を目指してください。年度内であれば費用はかかりず、何度
でも提出可能です。担当教員からの添削は励みにもなりますし、合格後は達成感や成
長を実感することができるので、計画的にじっくりテーマと向き合って作成してください。

丁寧な添削指導で 学びが深まる！

わからないことがあっても
いつでも教員に直接連絡

教員への質問・相談

レポート作成でわからないことがあれば、メール
で直接担当教員にいつでも聞くことができます。
また、LMS(学修管理システム)での相談もでき
るので、レポート作成の際も安心です。

実践力を身につける！ 教員と仲間との貴重な時間

スクーリング

スクーリングとは、自宅（オンライン）や全国の学習センター、その他臨時会場等にて教員から授業（面接授業・メディア）を利用して行う授業を受ける履修方法のことです。「スクーリング単位」が設定されている科目は、スクーリングの受講が必須となっています。「卒業に必要な124単位のうち、30単位以上はスクーリングによる単位を修得すること」と大学通信教育設置基準で定められています。

スクーリングは、科目ごとに設定されたスクーリング単位で受講日数が決まっています。原則スクーリング単位1単位で2日間（0.5単位の場合は1日）の受講が必要です。年間のスケジュールを確認し、計画的に学習を進めることが大切です。

自分にあった受講方法を選択！

星様のスクーリングスタイル

スクーリングスケジュールを確認し、都合に合わせて受講することができます。ホームページや学生ポータルサイトから科目ごとの開講日程等を確認することが可能です。

200科目以上

Webライブスクーリング

Web会議アプリケーションを利用したライブ配信型のスクーリングで自宅等から受講します。会場から遠方にお住まいの方や海外の方も受講しやすくなっています。土日祝日を中心に開講しています。

いつでも受講

オンデマンドスクーリング

視聴期間内であれば、いつでも、どこでも、何度でも、受講できる動画視聴によるスクーリングです。好きな時間に受講できるので、忙しい方も学びやすくなっています。

実践型

会場スクーリング

札幌、横浜、名古屋、大阪、福岡の5都市を中心とした会場にて受講するスクーリングです。土日祝日を中心に開講しています。

本学のスクーリングは、Webライブスクーリング、オンデマンドスクーリング、会場スクーリングの3種類があります。Webライブスクーリングは、Web会議アプリケーションを利用したライブ配信型のスクーリングで自宅等から受講します。オンデマンドスクーリングは、視聴期間内であれば、いつでも、どこでも、何度でも、受講できる動画視聴によるスクーリングです。会場スクーリングは、札幌、横浜、名古屋、大阪、福岡の5都市を中心とした会場にて受講するスクーリングです。スクーリング単位は、科目ごとに設定されています。原則スクーリング単位1単位で2日間（0.5単位の場合は1日）の受講が必要です。年間のスケジュールを確認し、計画的に学習を進めることが大切です。

世界中どこにいても受講できる！

インターネットを介して自宅や職場等からライブで受講できる科目は200以上あるため、世界中どこにいても受講することができます。また、札幌、横浜、名古屋、大阪、福岡の5都市を中心とした主要都市に会場があり、仲間とともに学びを深めることも可能です（一部科目を除く）。

受講するだけではもったいない！
全国で仲間を作る！

全国の学生が受講するスクーリングは、座席交換の場としても活用されています。仲間同士で意見を言い合い、互いを認め合うことは、新たな気づきに繋がります。スクーリングから人生が広がる。これが星様のスクーリングです。

オンライン授業の方法を身につけることができる

今後、ますます増えるオンライン授業やオンライン会議での立ち振る舞いを学ぶことができます。授業の方法やプレゼンの方法を学ぶことにより、オンライン上でも魅力的でわかりやすい授業やプレゼン方法を身につけることができます。

オンライン授業でも個別の相談ができる

オンライン授業（Webライブスクーリング）では、グループワークを多く設けているので、個別の相談も仲間同士の交流も簡単にできます。また、授業後には個別の質疑応答サポートがあるので、わからないことをすぐに解決できます！

実践力向上！
体感・体験型スクーリング

本学の学びはオンラインが中心となっていますが、会場で開催するスクーリングでは、実技や演習・実習、フィールドワークを行っています。実際に体験することで得られる経験は大きな学びになります。

星様のスクーリングでは、地域まるごとが学びの場です！

星様のスクーリングでは、地域まるごとが学びの場です。実際に体験することで得られる経験は大きな学びになります。

自分の力を発揮する！ 学びの集大成 科目修得試験

星城大学では、課題解決能力を養う試験を行います。
資料を用いながら今まで学んだことを自分の言葉で文章(レポート)にして表現していきます。
合格すると単位の修得となります。

POINT 1

《試験日がない》

要件を満たしていれば、いつでも、どこでも、自分のタイミングでの受験(作成・提出)が可能です。

POINT 2

《制限時間がない》

制限時間がありませんので、資料を見ながら、自分のペースで受験できます。

POINT 3

《自宅受験が可能》

自宅等で受験ができるので、移動の負担がなく、試験に集中することができます。

POINT 4

《選べる受験方法》

パソコンまたは手書きのいずれが好きな方法で試験に取り組むことができます。

□単位修得までの流れ

科目修得試験は、レポート方式による試験です。試験課題などは、スクーリング受講後、もしくはレポート提出後、学生ポータルサイトにて確認できます。自宅等で受験(解答を作成)し、オンラインまたは郵送にて期限内に提出します。再提出になった場合でも年度内(期限内)であれば、何度でも提出することができます。

スクーリングありの科目

スクーリング受講後、学生ポータルサイトから試験課題を確認することができます。

スクーリングなしの科目

レポート提出後、学生ポータルサイトから試験課題を確認することができます。

自宅等で受験(作成)

自宅等で受験(解答を作成)します。

提出

オンラインまたは郵送で期限までに提出します。※科目修得試験の試験はレポート合格後となります。

再提出

合格

成果を実感！ 学びの集大成！

自分の考えを文字で表現する！

みなさんの学びを応援します！

充実のサポート体制

通信制だからこそ、安心してしっかりじっくり学んでもらいたい。
そんな気持ちから、多くのサポート体制を用意してみなさんをお待ちしています。
不安を解消し、より自分らしい学びを星城大学で実現してください。

□星城大学附属総合学修・就職支援センター

障がい等のある学生、および就職(企業等)を希望する学生がより多い学修、キャリア形成できるように、学修支援室と就職支援室が一元となってサポートします。
専門のカウンセラーやアドバイザーと教員が連携してサポートにあたりますので、一人で抱え込まずにご相談ください。

□マンツーマン指導員

学修をサポートする心強い味方

正科生一人ひとりを教員が担当し、みなさんの履修状況を把握して、しっかりとサポートするのが「マンツーマン指導員」。担任の先生がついているので安心して学べます。各科目の担当教員や事務局とも連携して、共に目標達成を目指します。

□学修指導書

科目の取扱説明書！学修指導書は熟読必須！

科目ごとにレポートのテーマや学修の手順、試験の方法や到達目標を細かく記載しているのが「学修指導書」。学修をすすめるうえです。学修指導書をじっくり読むことをおすすめしています。安心して学び始めるための大切なパートナーです。

□個別相談会

個別の入学前・入学後相談を随時実施

入学前でも入学後でも個別の相談会を随時実施しています。ご希望や目標を聞いたうえで、一人ひとりにあった科目や学修スケジュールを一緒に組んでいきます。ご希望の方には履修モデルの作成なども行っています。お気軽にご相談ください。

□LMS(Learning Management System)

通信制と通学制のハイブリッド学修支援！

大学から付与されたGoogleのIDでログインし、インターネット上の教室にて、学生に対して学びの支援を行うことができる学修管理システムです。教員による効率的できめ細やかなサポートを受けながら、単位修得を目指すことができます。また、教員や学生同士のコミュニケーションツールとしても活用できます。

□共生入門・プレゼミ

学修のすすめ方やポイントを教員が直接伝授

共生をテーマに、本格的な科目学修に入る前の事前トレーニングとして考え方の基礎を学ぶ「共生入門」、レポート作成に重点を置き、教員からの詳しい解説とともに実際に作成する「プレゼミ」どちらの科目も、学修を始めるにあたって、とても役立つ内容です。

高等教育の 修学支援新制度

本学は、高等教育の修学支援新制度(給付型奨学金・授業料等減免)の対象校です。
対象者は、世帯年収に応じて入学金や授業料の免除または減額と給付型奨学金の両方の支援を受けることが可能です。詳細については、日本学生支援機構のHPを確認してください。また、そのほかに貸与型の奨学金(日本学生支援機構)や国の教育ローン(日本政策金融公庫)、オリエンテーション(オリコ)と提携した教育ローンなどもご案内しています。



(日本学生支援機構HP)

サポート体制が 充実！

通信制だからこそ、安心して学んでもらえるよう多くのサポート体制を用意しています。

事務局もみなさんの学びを 全力で応援します！

事務局相談窓口

平日だけでなく、土日や祝日も相談を受け付けています(オンライン、電話、Web質問フォームなど)。また、定期的に北海道から沖縄まで相談会を実施していますので、直接会って学修相談することも可能です。いつでも安心して学びすすめてもらえるよう、事務局もみなさんの学修を応援しています。お気軽にご相談ください。

土・日・祝日も 相談対応中



星槎の活動を紹介!

キャンパスもパソコンも飛びだした学びが、毎日のように全国で行われています。
講義だけが学びじゃない。芸術や文化に触れ、体験・実践を通して、
分野を超えて横断的に学ぶことは、社会に対して「伝える力」を養うことにつながります。
星槎でしかできない学びを一冊にしてみませんか。



利尻町 サテライトカレッジ

2021年、北海道の利尻町(利尻島)にサテライトカレッジを開設しました。地域の方々のコミュニティの場として、また地域の活性化を目的にさまざまな活動を実施していきます。

ツルセミ
生協だったよんの家、
星槎はここから始まりました。



全国の歴史的建造物を 会場とした「星槎塾」

京都の伝統建築として親しまれている町家「仁風庵(国登録有形文化財)」や、鎌倉の高徳院、南禅寺など、全国各地の歴史的建造物を会場として定期的に開催している星槎大学オープンカレッジは、毎回多くの方にご参加いただいています。



出前授業 学習・造形ワークショップ

夏休みの課題や工作などのお手伝いを近隣の小学校で行っています。同時に、保護者の方に向けて教育相談も行っています。



丹波コミュニティカレッジ

「あたり前にとらわれないキャンパス」それが学生と一緒に考えた丹波コミュニティカレッジです。学生が主体性を発揮し、授業を受けて自分たちでできることを考え、アクションを起こしています。

学校間連携

55を超える全国の大学・短大や専門学校等と教育連携の協定を結んでおり、現在では、1,000名を超える学生が在籍しています。学生の専攻の選択支援や、教員免許取得等の目標達成に向けて教養一丸となってサポートをしています。



**開講科目は
300以上!**
好きな科目を選んで受講!
1科目から受講可です。



鎌倉「建長寺」 での朗読会

建長寺の敷地内にある正堂で「親と子の朗読会」を開催。大人の参加者も多く、改めて「ことば」の力や力の素晴らしさを感ずることができる朗読会です。

**ハチドリ
のクリキンディ**
自分ができることしよう。
続きは「星槎」で!



かいしゃだいがく

本学が運営する企業・団体・地域向けの「人材採用・育成」プログラム。企業(団体・地域)内に産官学大学で学ぶ仕組みを想定することで、働きながら大卒資格を取得するプログラムや、社内研修のアウトリーチングなど、理念や方針に合わせてオーダーメイドの学びを提供しています。

沖永良部島 サテライトカレッジ

2017年、沖永良部島にサテライトカレッジを開設しました。島内在住の石田親俊による講義の他、若年層の人口流出ストップなど、地域活性化を目的としたさまざまな活動を実施しています。





SAAB SEISA Africa Asia Bridge

SAABとは、共生社会の実現に向けて、互いに知って驚かすこと、SDGsの具体化をテーマに全国の生徒、学生、教職員が共にアフリカ・アジアの方々と交流し、得たアフリカ・アジアとの「驚き」になることを目的として2015年から始めた異文化グループ最大の国際交流イベントです。2022年度も前年度に引き続き、外務省や文部科学省、UNDP(国連開発計画)、JICA(独立行政法人国際協力機構)などの各機関に協力いただき、15ヵ国の大規模を誇り、約10ヵ国が参加しました。また、オンラインを含めると約40,000名の方々が参加し、隔り合いの輪を広げることができました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

異文化理解教育

和を重んじ、互いの違いを理解し、和を築いていく。和を築いていく。和を築いていく。

宇宙の教室「宇宙で学ぶ」=「命を学ぶ」

宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙教育センターと宇宙教育についての連携協定を締結しました。宇宙を題材にした学びから「命の大切さ」を学びます。

ブータン王国との教育文化交流 STAR program

ブータン王国の私立大学であるRoyal Thimphu College (RTC)とのMali(教育)の協定により、交換留学など国際的な交流を促進するプログラムを実施しています。

ハスの花へメトベマ

メトベマとは、ブータンの主要な花である「ハスの花」をモチーフにしたメトベマ。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

Web会議 アプリケーション

世界をどこからでも見守ることができます。いろいろな人と交流できます。

UNA1 (国連アカデミックインパクト)

国連アカデミックインパクトは、世界の高等教育機関との連携である「国連アカデミックインパクト」に加わり、世界の高等教育機関や民間団体の連携の強化に向けた、教育・研究・社会貢献活動に取り組んでいます。

いつでも相談できる！ 入学前の疑問点は ここから相談！ info@seisa.ac.jp

公益財団法人 世界こども財団

FGC - Foundation for Global Children

世界の子どもたちに、将来の夢と希望を

日本で、世界の国々で、日々を懸命に生きていく子どもたち。しかし、医療や教育が行き届かないために、その可能性を奪われてしまう子どもたちも数多くいます。1970年代から続く星屋グループの国際支援・交流活動をさらに進めるため、2010年に世界こども財団を設立。医療・教育・スポーツを通して、子どもたちや青少年の健全育成、そして自立を支援するために、国内外で草の根的支援活動を続け、2015年にはその実績により、内閣府より公益財団法人として認可を受けました。

最新情報につきましては、Webで確認できます。

スポーツのキャリアを活かせる！

セカンド・キャリア・プロジェクト

2012年からスタートし、180名以上の方が、新たな目標に向かって学んでいます。

プロスポーツや企業スポーツの選手はもちろん、アスリートとして活躍されている方が、その貴重な経験を生きて社会のために活かすことができるよう応援するのが、このセカンド・キャリア・プロジェクトです。教員免許状を取得して学校教育の場で子どもたちの教育に関わる、スポーツマネジメントのプログラムを開修して、スポーツ関連の企業や団体の経営、スポーツイベントの企画・運営に関わるなど、さまざまな目標を応援しています。

《セカンド・キャリア在籍実績》

野球（日本プロ野球 OJ 会、日本女子プロ野球機構、日本野球連盟、BC リーグ、四国アイランドリーグ、北海道ベースボールリーグ 他）、サッカー（J リーグ、なでしこリーグ 他）、バスケットボール（B.LEAGUE、日本女子リーグ）、プロレスリング（プロレスリング・ノア）、バドミントン、ラグビー、バレーボール、陸上、水泳、スケート、レスリング、ボクシング、アーチェリー、ボート、サーフィス、ダンス、柔道、剣道、空手、ハンドボール、アイスホッケー、器械体操、卓球 他



2つ目の夢を叶えるチャンスを与えてくれた

元プロ野球選手
島袋 洋奨

私はプロ野球選手を引退後、母校の教員として勤務しながら、保健体育の教員免許状取得に向けて学んでいます。
通信制の学修は最初、仕事をしながらなので独りになることもあり、不安だらけの日々でしたが、担当してくれる教員の方が親身になってサポートしてくれ、るので安心して取り組むことができました。また、星槎大学の学生は、職業も出身地も年齢もバラバラなので、多様な価値観を知ることができ、新しい発見に繋がることがたくさんあります。
将来は、体育やスポーツに対して、前向きな気持ちを持ってもらえる指導ができる保健体育の教員になりたいです。



プロ選手の次は子どもたちに夢を持たせることのできる教員へ

プロサッカー選手
山ノ井 拓己

僕たちアスリートは、必ずいつか引退の時に訪れます。選手として活躍できる期間は、長い人生の中のほんの一部分で、むしろ引退してからの方がはるかに長いのです。今から将来のことを考えしっかりと準備していることが大切だと感じ、セカンドキャリアプロジェクトを利用して星槎大学での学修支援を受けることにしました。練習や試合などのチームスケジュール、そして自分のコンディション管理が最優先のアスリートにとって、自分のペースで学べるのが通信制の最大のメリットだと思います。
クラブとして一人目の入学となりますが、先輩たちのモデルプランになれるようしっかりと取り組んでいきたいと思っています。



一步を踏み出せば、人生はもっと楽しくなる！

元プロバスケットボール選手
野口 まゆみ

プロバスケットボール選手を引退後、高校の家庭科の教員として勤務しながら、今後のキャリアプランを考え、保健体育の教員免許状を取得したいと考えていました。そこで出会ったのが星槎大学です。星槎大学では、中高保健体育以外にも特別支援学校の教員免許状も取得できるので、とても魅力的でした。また、通信制のため、育児、仕事などとも両立することができたのもよかったです。
新しいことに挑戦することが好きなので、引き続き学びは続けていきたいと考えており、次の目標としては、小学校と幼稚園の教員免許状取得を考えています。また、定年後には、バスケットボール教室をやりたいと思っています。そして、自分の子どもがバスケットをやってくれるのであれば、そのコーチングもできたらいいなと思います。

星槎の高等教育機関

教育を深める研究と共に

星槎大学大学院

星槎大学大学院では、教育やその関連分野の専門的知識・技能を身につけ、教育に関する学術研究および問題解決のための実証研究を行います。実践と理論を往還して自発的に研究を遂行することを通じて、次世代の教育を担い、共生社会の進展に貢献できる人材を育成します。



・平均年齢：47.4歳 ・仕事をしながら学んでいる人：138名/145名

教育学研究科 博士後期課程（通信制） [学位：博士（教育）]
現場に想定した実証研究を求め、成果を現場に～理論と実践の往還～

教育学研究科 修士課程（通信制） [学位：修士（教育）]
共生の視点から教育を探究する

看護教育研究コース/メディア・ジャーナリズム研究コース/国際協力・共生研究コース
（教育学研究科で取得可能な免許状）
◎小学校教諭専修免許状 ◎特別支援学校教諭専修免許状（知的障害者）

教育学実践研究科 専門職学位課程（通学制） [学位：教育修士（専門職）]
現場の課題を究め、実践力を高める

《教育学実践研究科で取得可能な免許状》
◎小学校教諭専修免許状
◎中学校教諭専修免許状（国語・社会・数学・理科・英語・音楽・美術・保健体育・技術・家庭）
◎高等学校教諭専修免許状（国語・地理歴史・公民・数学・理科・英語・音楽・美術・保健体育・技術・家庭・産業）

星槎大学大学院の特長
●教育現場での課題について研究を通じて解決できます。
●教育だけでなく、幅広い分野の研究ができます。
●仕事を続けながら学ぶことができます。
●自宅から講義を受講できます（一部科目を除く）。

教育セミナー開催中▶ 自宅から受講できます。詳しくはHPをご覧ください。

お問い合わせ・資料請求は

〒231-0021 神奈川県横浜市中央区日本大通り1番地 横浜管理文化センター5階
☎045-212-3830 https://grad.seisaku.ac.jp E-mail: info_grad@seisaku.ac.jp

成長を全力でサポートする大学

星槎道都大学

大学に行かない自分、「やりたいこと」を実現できる場所。

大学に行くのは何のため？

高い専門知識や技術を学びたい。

好きなことを仕事にする。

実家から通学に就く。

資格を取って手に職をつける。

……など目標はさまざま。

共通するのは将来にプラスになるかどうか、社会に出て求められる力、の2つではあります。

星槎道都大学では、就きたい職業に合わせたプログラムや、興味がある分野を深めるプログラム、資格を取るためのプログラムなど、多様な学びを展開しています。

自分の強みを増やし、得意分野の幅を広げて、さらにコミュニケーション力や実践力を磨くなど将来にプラスになる4年間を積み立てていくことができます。

経営・社会福祉・デザイン・建築の3学部4学科からなるメジャー・プログラム33コース・サブメジャー・プログラム24プログラム＝792の学び方があります。

将来の夢、学びたいことを提案させていただきます。
あなたにぴったりの組み合わせを一緒に見つけていきましょう。

お問い合わせ・資料請求は

〒061-1196 北海道札幌市中央区南14条5番地

☎011-372-3111 https://www.seisadohtu.ac.jp

【星槎グループ】

（公認会計士） 札幌2号事務所（FSC）

（学校法人） 国際学院

●星槎もみじ中学校

●星槎フリースクール（音楽）

●星槎道都高等学校（文芸・経済・情報）

札幌、石川、山形、秋田、岩手、青森、山梨、長野、新潟、富山、石川、福井、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、徳島、高松、香川、愛媛、高知、福岡、佐賀、大分、熊本、鹿児島、沖縄

●星槎大学大学院

●星槎道都大学

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

●星槎道都大学キャンパス

資料 2-1-2 星槎大学入学志願書・志望理由書・教職課程登録申込書（兼）調査書

入学年月日[※]

西暦 20 年 月 日

学籍番号[※]

※太枠内は事務局記入

2023年度

星槎大学入学志願書

記入年月日

西暦20 年 月 日

星槎大学出願書類 様式-①

写真
(4cm×3cm)

※必ず写真の裏面に
氏名を記載してください。

氏 名	ふりがな		姓	名	性 別	1.男 ☐
	漢 字					2.女 ☐
	ローマ字					3.未回答
国 籍	☐ 日本 ☐ その他()					
生年月日	西暦 年 月 日				年 齢	歳
現 住 所	ふりがな					
	〒 ー 都・道 府・県					
	※マンション・アパート名、部屋番号まで明記してください。					
連 絡 先 (必須)	自宅電話() ー		自宅FAX () ー			
	携帯電話() ー		緊急連絡先() ー			
	PC メール メールアドレスをお持ちの場合は必ず記入してください。お持ちでない場合は☐してください。 →☐ メールアドレスなし					
	携帯 メール メールアドレスをお持ちの場合は必ず記入してください。お持ちでない場合は☐してください。 →☐ メールアドレスなし					

※緊急連絡先は志願者本人以外の連絡先を記入してください。

入 学 期

☐ 4月生 ☐ 10月生

入学区分	正 科 生	▼希望の専攻・入学年次に☑してください。			
		専攻 入学年次	☐ 共生科学専攻	☐ 1年次入学 ☐ 2年次編入学 ☐ 3年次編入学 ☐ 4年次編入学	
			☐ 初等教育専攻	☐ 1年次入学 ☐ 3年次編入学	
			☐ 福祉専攻		
			☐ スポーツ身体表現専攻		
	☐ グローカルコミュニケーション専攻				
	▼希望の学納金コースに☑してください。				
	コース	☐ 従量課金制(単位数に応じた授業料となる学納金コース)			
		☐ 定額制A ☐ 定額制B ☐ 定額制C ☐ 定額制D ☐ 一括 ☐ 2分納 ☐ 4分納			
	科目等履修生	▼希望の学納金コースに☑してください。			
☐ 従量課金制(単位数に応じた授業料となる学納金コース)					
☐ 資格履修生		☐ 特別支援学校2種(幼・小・中・高教諭対象)<140,000円>	☐ 一括 ☐ 2分納 ☐ 4分納		
		☐ 幼稚園2種(小学校教諭対象)<70,000円>			
		☐ 小学校2種(幼稚園教諭対象)<150,000円>			
	☐ 小学校2種(中学校教諭対象)<140,000円>				
☐ 幼稚園教諭免許状特例講座 ※一部の単位のための修得を希望する場合は横浜事務局までお問い合わせください。	☐ 一括 ☐ 2分納 ☐ 4分納				
特修生	☐ 特修生(単位数に応じた授業料となる学納金コース)				

入学区分の詳細については「学生募集要項」P.2～5をご覧ください。

星槎大学 2023

学歴	高等学校（西暦）	年	月	入学	～（西暦）	年	月	卒・修・退・除・卒業見込
	（西暦）	年	月	入学	～（西暦）	年	月	卒・修・退・除・卒業見込
	（西暦）	年	月	入学	～（西暦）	年	月	卒・修・退・除・卒業見込
	（西暦）	年	月	入学	～（西暦）	年	月	卒・修・退・除・卒業見込
	特修生希望の場合	中学校（西暦）	年	月	入学	～（西暦）	年	月

勤務先名	電話（ ） — （内線 ） ※電話番号は勤務先への連絡が可能な場合のみ記入してください。
------	--

紹介者	※紹介を受け、ご入学いただいた場合は紹介者氏名を記入してください。 紹介者氏名 _____	グループ校・提携校名
	1.星槎大学在学学生 2.星槎大学卒業生等 3.星槎グループ関係者（保護者を含む）（学校・校舎名： ） ☐	

「職業」「志望動機」「媒体・理由」についてはP.13～14のコード表から選択し、あてはまる数字を記入してください。

職業	☐	志望動機	☐	媒体・理由	☐	入学前相談	1.ある ☐ 2.ない ☐	「1.ある」にチェックした方 → 担当職員の名前を記入してください。 (職員名：)
----	--------------------------	------	--------------------------	-------	--------------------------	-------	--	--

障がいについての相談	1.ある ☐ 2.ない ☐	種別： 1.視覚障がい 2.聴覚・言語障がい 3.肢体不自由 4.病弱・虚弱 5.発達障がい 6.精神障がい ☐
	障がいについての相談「1.ある」にチェックした方 → 障害者手帳もしくは医師の診断書をお持ちですか。 (出願前に必ずご相談ください。支援方法等についてご連絡する場合があります。) → 「1.有」の方は、障害者手帳のコピーまたは医師の診断書を出願書類とともに提出してください。	

旧学籍番号	以前、本学に在籍したことのある方は、当時の学籍番号、在籍期間を記入してください。 【旧学籍番号】 在籍期間 西暦20 年 月 ～ 西暦20 年 月
-------	--

誓約欄	本人	星槎の建学の精神、教育の理念を尊重し、学則並びに関連諸規定を遵守することを誓約いたします。 署名日（西暦）20 年 月 日 氏 名 _____（自署）
	保証人	上記の者の在学中の一切の事項についての責任を負います。 ※成人（18歳以上）の場合、保証人は不要です。 署名日（西暦）20 年 月 日 保証人氏名 _____（印）（保証人自署・捺印） 住 所 〒 _____ 本人との続柄 _____ 電話番号（ ） — _____

教員免許状・資格の取得、プログラムの修了など希望するものに☑してください（複数回答可）。

☐ 学士（4年制大学卒業資格） ☐ 社会福祉士（国家試験受験資格） ☐ 社会福祉主事（任用資格） ☐ 支援教育専門士（履修証明プログラム） ☐ 福祉スポーツ指導員（履修証明プログラム） ☐ 日本語教師 ☐ 教育カウンセラー／ピアヘルパー ☐ AS（自閉症スペクトラム）サポーター ☐ 准学校心理士 ☐ 児童指導員（任用資格） ☐ 小学校外国語活動指導者	☐ 教員免許状 ※1種・2種についてはいずれかに丸をつけてください。 教員免許状の取得を目指す場合は、必ず「教職課程登録申込書（兼）調査書（星槎大学出願書類 様式-③）」を提出してください（資格履修生、幼稚園教諭免許状特例講座を除く）。 ☐ 幼稚園（1種・2種） ☐ 小学校（1種・2種） ☐ 中学校「社会」（1種・2種） ☐ 中学校「保健体育」（1種・2種） ☐ 中学校「英語」（1種・2種） ☐ 高等学校「地理歴史」1種 ☐ 高等学校「公民」1種 ☐ 高等学校「保健体育」1種 ☐ 高等学校「英語」1種 ☐ 特別支援学校（知的障害）（1種・2種）
---	---

志望理由書

氏 名

記入年月日 西暦20 年 月 日

志望理由

星槎大学を志望した理由をお書きください。※横書き、400文字以上。文字数不足の場合、再提出となります。

(注)教員免許状の取得を目指す方

「どのような教員になりたいか」というテーマで、取得を目指される免許状の種類をふまえて、その想いを自由にお書きください。

※保健体育の教員免許状取得を目指す方は、「運動が苦手な生徒に対して、どのようにアプローチしたか」、現職教員の方は「今後教員としてさらにどのような力をつけていきたいか」を熱い想いと共にお書きください。

志望理由 (横書き・400文字以上)

※黒のボールペンを使用し、楷書でていねいに記入してください。

※志望理由が書ききれない場合は、レポート用紙や原稿用紙などに書いて提出してください。

This image shows a single sheet of white paper with horizontal blue or grey ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.

教職課程登録申込書(兼)調査書

【注意】 ①教員免許状の取得を目指される方は科目数問わず、必ず提出してください(資格履修生、幼稚園教諭免許状特例講座除く)。
②すべての項目を記入してください。□には該当項目に☑してください。

教職課程に登録します。

申込日:西暦20 年 月 日 署 名:

学籍番号 (事務局記入)				専 攻 (正科生のみ)		
氏 名	ふりがな			在 住 都道府県	都 道 府 県	
	漢 字	姓	名			
生年月日	西暦	年	月	日	性 別	☐ 男 ☐ 女

取得希望 免許状 ※1種2種については、 いずれかに○印を つけてください。	☐ 幼稚園(1種・2種)	☐ 小学校(1種・2種)
	☐ 中学校「社会」(1種・2種)	☐ 中学校「保健体育」(1種・2種)
	☐ 中学校「英語」(1種・2種)	☐ 高等学校「地理歴史」1種
	☐ 高等学校「公民」1種	☐ 高等学校「保健体育」1種
	☐ 高等学校「英語」1種	☐ 特別支援学校(知肢病)(1種・2種)
教育実習※1	☐ 必要 (希望時期: 年度 ※2024年度以降を記入してください。	
	☐ 不要 (理由: ☐ 他大学で実施済(予定) ☐ その他())	
介護等の体験※2 (正科生のみ申込可) 小・中学校の教員免許状 取得希望者のみ	☐ 必要 (希望時期: 年度 ※2024年度以降を記入してください。／希望都道府県:)	
	☐ 不要 (理由: ☐ 他大学で実施済(予定) ☐ 特別支援学校免許状所有 ☐ その他())	

基礎資格 (最終学歴)	☐ 学士あり(4年制大学卒業資格) ☐ 短期大学士あり(短期大学卒業資格) ☐ 専門学校卒業 ☐ 高等学校卒業
	☐ 学士取得中(在籍大学名: /卒業見込年月:西暦 年 月) ☐ その他()
所有免許状 ※専修2種については、 いずれかに○印を つけてください。	☐ 幼稚園(専修・1種・2種) ☐ 小学校(専修・1種・2種)
	☐ 中学校(専修・1種・2種)教科 ☐ 高等学校(専修・1種)教科
	☐ 特別支援学校(専修・1種・2種)(領域:)
	☐ 所有免許状なし
	☐ 他大学等で取得中 西暦 20 年 月 日 取得見込み(学校種・教科:)
他大での教職単位	☐ 取得希望免許状の修得単位あり (66条の6に定める科目も含む) ⇒「学力に関する証明書(新法)(コピー可)」の提出が必要です ☐ 修得単位なし
教員としての 勤務経験	☐ 有 ⇒ 勤務経験をいかすことができるか、教育委員会へ確認が必要です(済・未) ※いずれかに丸印 (具体的な勤務経験/年数: 学校種:)
	☐ 無
教職実践演習 の受講	☐ 必要 ☐ 不要 (理由: ☐ 他大学で同じ学校種の同一科目を修得済(予定) ☐ 他免許状取得時に修得済(予定) ☐ 特別支援学校教諭免許状希望のため ☐ その他())

■提出が必要となる書類について

書類の種類	提出が必要となる方	提出状況(該当する場合チェック)
学力に関する証明書(新法)(コピー可)※3	他の大学等での修得単位がある方	☐ 既に提出済(出願時・入学前相談時)
所有免許状のコピー	既に免許状を所有されている方	☐ 既に提出済(出願時・入学前相談時)
健康診断書(様式-④)※4	保健体育の免許状取得を目指す方	☐ 出願書類に同封

※1 教育実習前年度の年度ははじめに教育実習実施申請、内諸活動事前面接の実施等が必要です。

また、教育実習前年度までに本学が定める教育実習履修要件を満たす必要があります。

※2 介護等の体験の実施前年度の11月末までに「介護等の体験実施申請書」の提出が必要です(大阪府前期の場合は9月末)。

※3 学力に関する証明書とは教育職員免許法に基づいた証明書です(「成績・単位修得証明書」とは異なります)。

※4 出願時に準備できない場合は、入学後、体育実技科目のスクーリング受講1ヵ月前までに提出してください(毎年提出が必要になります)。

星槎大学 教職課程履修規程

(趣旨)

第1条 この規程は、星槎大学学則（以下「学則」という。）第38条5に基づき、星槎大学（以下「本学」という。）における教職課程（以下「本課程」という。）の履修に関し必要な事項を定める。

(定義)

第2条 本課程を履修し教育職員免許状を取得しようとする者は、「教育職員免許法」および、「教育職員免許法施行規則」に定めるところに従い、本学所定の単位を取得しなければならない。

(教員免許状の種類)

第3条 本学共生科学部共生科学科各専攻において取得できる教育職員免許状（以下「免許状」という）は以下のとおりである。

専 攻	免許状
共生科学専攻	中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（地理歴史） 高等学校教諭一種免許状（公民） 特別支援学校教諭一種免許状 （知的障害者・肢体不自由者・病弱者）
初等教育専攻	幼稚園教諭一種免許状 小学校教諭一種免許状
スポーツ身体表現専攻	中学校教諭一種免許状（保健体育） 高等学校教諭一種免許状（保健体育）
グローバルコミュニケーション専攻	中学校教諭一種免許状（英語） 高等学校教諭一種免許状（英語）

(要件)

第4条 前条の免許状を取得しようとする者は、以下の条件を充たさなければならない。

1. 学則第46条に定める卒業に必要な要件を充たしていること。
2. 幼稚園教諭一種免許状の取得に関する必要単位について

(1) 以下の教職免許法施行規則第66条の6に定める科目より、必修単位を含め8単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	日本国憲法	2	1 科目	英語コミュニケーション（１）	2
必修	スポーツ（１）	1	選択必修	英語コミュニケーション（２）	2
必修	スポーツ（２）	1	必修	情報処理	2

（２）以下の領域及び保育内容の指導法に関する科目より、必修単位を含め２４単位以上修得していると。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	保育内容（健康）	2	必修	保育内容の指導法（健康）	2
必修	保育内容（人間関係）	2	必修	保育内容の指導法（人間関係）	2
必修	保育内容（環境）	2	必修	保育内容の指導法（環境）	2
必修	保育内容（言葉）	2	必修	保育内容の指導法（言葉）	2
必修	保育内容（音楽表現）	2	必修	保育内容の指導法（音楽表現）	2
必修	保育内容（造形表現）	2	必修	保育内容の指導法（造形表現）	2
			選択	保育内容の指導法（総合演習）	2

（３）以下の教育の基礎的理解に関する科目等より、必修単位を含め２５単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	教育原理（初等）	2	必修	教育方法・技術論（初等）	2
必修	教職概論（初等）	2	必修	幼児理解の理論と方法	2
必修	教育経営・学校安全論（初等）	2	必修	教育相談（初等）	2
必修	教育心理学（初等）	2	必修	教育実習（初等）（１）	5
必修	特別の支援を必要とする幼児・児童の理解	2	選択	教育実習（初等）（２）	3
必修	教育課程論（初等）	2	必修	教職実践演習（初等）	2

(4) 先に示した領域及び保育内容の指導法に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目等及び以下の大学が独自に設定する科目も含め 5 1 単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	生涯学習論	2	選択	授業実践演習(初等)	2
選択	発達障害概論	2	選択	アクティブラーニング演習	2
選択	持続可能な開発のための教育 (ESD)	2	選択	多様な幼児・児童の支援演習	2
選択	世界の教育事情とカリキュラム・マネジメント	2	選択	学校ボランティア(初等)Ⅰ	1
選択	ワーク・ライフ・バランス論	2	選択	学校ボランティア(初等)Ⅱ	1

3. 小学校教諭一種免許状の取得に関する必要単位について

(1) 以下の教職免許法施行規則第 6 6 条の 6 に定める科目より、必修単位を含め 8 単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	日本国憲法	2	1 科目 選択必修	英語コミュニケーション (1)	2
必修	スポーツ (1)	1		英語コミュニケーション (2)	2
必修	スポーツ (2)	1	必修	情報処理	2

(2) 以下の教科及び教科の指導法に関する科目より、必修単位を含め 4 0 単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	教科 (国語)	2	必修	初等教科教育法 (国語)	2
必修	教科 (社会)	2	必修	初等教科教育法 (社会)	2
必修	教科 (算数)	2	必修	初等教科教育法 (算数)	2
必修	教科 (理科)	2	必修	初等教科教育法 (理科)	2
必修	教科 (生活)	2	必修	初等教科教育法 (生活)	2
必修	教科 (音楽)	2	必修	初等教科教育法 (音楽)	2
必修	教科 (図画工作)	2	必修	初等教科教育法 (図画工作)	2
必修	教科 (家庭)	2	必修	初等教科教育法 (家庭)	2
必修	教科 (体育)	2	必修	初等教科教育法 (体育)	2
必修	教科 (外国語)	2	必修	初等教科教育法 (外国語)	2

(3) 以下の教育の基礎的理解に関する科目等より、必修単位を含め29単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	教育原理（初等）	2	必修	特別活動の指導法（初等）	1
必修	教職概論（初等）	2	必修	教育方法・技術論（初等）	2
必修	教育経営・学校安全論（初等）	2	必修	生徒・進路指導論（初等）	2
必修	教育心理学（初等）	2	必修	教育相談（初等）	2
必修	特別の支援を必要とする 幼児・児童の理解	2	必修	教育実習（初等） （1）	5
必修	教育課程論（初等）	2	選択	教育実習（初等） （2）	3
必修	道徳の理論・指導法（初等）	2	必修	教職実践演習（初等）	2
必修	総合的な学習の時間の指導法（初等）	1			

(4) 先に示した教科及び教科の指導法に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目等及び以下の大学が独自に設定する科目も含め59単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	生涯学習論	2	選択	授業実践演習(初等)	2
選択	発達障害概論	2	選択	アクティブラーニング演習	2
選択	持続可能な開発のための教育（ESD）	2	選択	多様な幼児・児童の支援演習	2
選択	世界の教育事情とカリキュラム・マネジメント	2	選択	学校ボランティア（初等）Ⅰ	1
選択	ワーク・ライフ・バランス論	2	選択	学校ボランティア（初等）Ⅱ	1

4. 中学校教諭一種免許状の取得に関する必要単位について

(1) 社会

ア.以下の教職免許法施行規則第66条の6に定める科目より、必修単位を含め8単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	日本国憲法	2	1 科目	英語コミュニケーション（１）	2
必修	スポーツ（１）	1	選択必修	英語コミュニケーション（２）	2
必修	スポーツ（２）	1	必修	情報処理	2

イ. 以下の教科及び教科の指導法に関する科目より、必修単位を含め 28 単位以上修得していること。

①教科に関する専門的事項

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	歴史概説Ⅰ	2	いずれか 1 科目 選 択必修	社会学	2
必修	歴史概説Ⅱ	2		経済学	2
選択	アジアの近代と社会	2	1 科目以 上 選 択 必 修	医療社会学	2
必修	地理概説Ⅰ	2		比較文化論	2
1 科目以 上 選 択 必 修	地理概説Ⅱ	2		環境社会学	2
	風土と内発的発展	2		国際ジャーナリズム論	2
	地理情報システム（GIS）演習	2		問題解決のための国際協働論	2
必修	法学Ⅰ	2	いずれか 1 科目 選 択必修	哲学・倫理学	2
1 科目以 上 選 択 必 修	法学Ⅱ	2		宗教学	2
	国際法	2	1 科目以 上 選 択 必 修	環境倫理	2
	国際関係論	2		公共哲学	2
	環境法	2			
	政治学	2			

②教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	公共演習	2	選択	人権演習	2
選択	平和演習	2			

③各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	社会科公民科指導法Ⅰ	2	必修	社会科公民科指導法Ⅲ	2
必修	社会科公民科指導法Ⅱ	2	必修	社会科公民科指導法Ⅳ	2

ウ．以下の教育の基礎的理解に関する科目等より、必修単位を含め29単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	教育原理（中等）	2	必修	特別活動の指導法（中等）	1
必修	教職概論（中等）	2	必修	教育方法・技術論（中等）	2
必修	教育経営・学校安全論（中等）	2	必修	生徒・進路指導論（中等）	2
必修	教育心理学（中等）	2	必修	教育相談（中等）	2
必修	特別の支援を必要とする生徒の理解	2	必修	教育実習（中等）Ⅰ（1）	5
必修	教育課程論（中等）	2	選択	教育実習（中等）Ⅰ（2）	3
必修	道徳の理論・指導法（中等）	2	選択	教育実習（中等）Ⅱ	3
必修	総合的な学習の時間の指導法（中等）	1	必修	教職実践演習（中等）	2

エ. 先に示した教科及び教科の指導法に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目等及び以下の大学が独自に設定する科目も含め 5 9 単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	生涯学習論	2	選択	授業実践演習（中等）	2
選択	発達障害概論	2	選択	アクティブラーニング演習	2
選択	持続可能な開発のための教育（ESD）	2	選択	多様な生徒の支援演習	2
選択	世界の教育事情とカリキュラム・マネジメント	2	選択	学校ボランティア(中等)Ⅰ	1
選択	ワーク・ライフ・バランス論	2	選択	学校ボランティア(中等)Ⅱ	1

(2)保健体育

ア. 以下の教職免許法施行規則第 6 6 条の 6 に定める科目より、必修単位を含め 8 単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	日本国憲法	2	1 科目	英語コミュニケーション（1）	2
必修	スポーツ（1）	1	選択必修	英語コミュニケーション（2）	2
必修	スポーツ（2）	1	必修	情報処理	2

イ. 以下の教科及び教科の指導法に関する科目より、必修単位を含め 3 3 単位以上修得していること。

①教科に関する専門的事項

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	体づくり運動	1	必修	運動学	2
必修	器械体操	1	必修	生理学	2
必修	陸上	1	必修	スポーツ生理学	2
必修	水泳	1	選択	解剖学	2
必修	野球	1	必修	衛生学	2
必修	サッカー	1	必修	公衆衛生学	2
必修	バレーボール	1	必修	学校保健概論	2
必修	柔道	1	必修	救急処置法	2
必修	ダンス	1			
選択	バドミントン	1			

1 科目 選択必修	スポーツ原理	2
	スポーツ心理学	2
	スポーツ経営管理論	2
	スポーツ社会学	2
	体育史	2

②教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	陸上演習	2	選択	武道演習	2
選択	球技演習	2	選択	ダンス演習	2

③各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	保健体育科指導法Ⅰ	2	必修	保健体育科指導法Ⅲ	2
必修	保健体育科指導法Ⅱ	2	必修	保健体育科指導法Ⅳ	2

ウ. 以下の教育の基礎的理解に関する科目等より、必修単位を含め29単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	教育原理（中等）	2	必修	特別活動の指導法（中等）	1
必修	教職概論（中等）	2	必修	教育方法・技術論（中等）	2
必修	教育経営・学校安全論（中等）	2	必修	生徒・進路指導論（中等）	2
必修	教育心理学（中等）	2	必修	教育相談（中等）	2
必修	特別の支援を必要とする生徒の理解	2	必修	教育実習（中等）Ⅰ（1）	5
必修	教育課程論（中等）	2	選択	教育実習（中等）Ⅰ（2）	3
必修	道徳の理論・指導法（中等）	2	選択	教育実習（中等）Ⅱ	3
必修	総合的な学習の時間の指導法（中等）	1	必修	教職実践演習（中等）	2

エ. 先に示した教科及び教科の指導法に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目等及び以下の大学が独自に設定する科目も含め 5 9 単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	生涯学習論	2	選択	授業実践演習（中等）	2
選択	発達障害概論	2	選択	アクティブラーニング演習	2
選択	持続可能な開発のための教育（ESD）	2	選択	多様な生徒の支援演習	2
選択	世界の教育事情とカリキュラム・マネジメント	2	選択	学校ボランティア(中等)Ⅰ	1
選択	ワーク・ライフ・バランス論	2	選択	学校ボランティア(中等)Ⅱ	1

(3)英語

ア. 以下の教職免許法施行規則第 6 6 条の 6 に定める科目より、必修単位を含め 8 単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	日本国憲法	2	1 科目	英語コミュニケーション（1）	2
必修	スポーツ（1）	1	選択必修	英語コミュニケーション（2）	2
必修	スポーツ（2）	1	必修	情報処理	2

イ. 以下の教科及び教科の指導法に関する科目より、必修単位を含め 2 8 単位以上修得していること。

①教科に関する専門的事項

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	英語学概論Ⅰ	2	選択	英語表現（writing）	2
必修	英語学概論Ⅱ	2	選択	英語表現（conversation）	2
必修	英語文学論（1）	2	選択	英語表現（presentation）	2
選択	英語文学論（2）	2	必修	異文化理解	2
必修	英語文学講読（1）	2	選択	異文化間コミュニケーション	2
選択	英語文学講読（2）	2	選択	国際関係論	2
必修	実践英語コミュニケーションⅠ	2	選択	比較文化論	2

必修	実践英語コミュニケーションⅡ	2	選択	国際ジャーナリズム論	2
----	----------------	---	----	------------	---

②教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	英語演習（１）	2	選択	英語演習（２）	2

③各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	英語科指導法Ⅰ	2	必修	英語科指導法Ⅲ	2
必修	英語科指導法Ⅱ	2	必修	英語科指導法Ⅳ	2

ウ. 以下の教育の基礎的理解に関する科目等より、必修単位を含め２９単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	教育原理（中等）	2	必修	特別活動の指導法（中等）	1
必修	教職概論（中等）	2	必修	教育方法・技術論（中等）	2
必修	教育経営・学校安全論（中等）	2	必修	生徒・進路指導論（中等）	2
必修	教育心理学（中等）	2	必修	教育相談（中等）	2
必修	特別の支援を必要とする生徒の理解	2	必修	教育実習（中等）Ⅰ（１）	5
必修	教育課程論（中等）	2	選択	教育実習（中等）Ⅰ（２）	3
必修	道徳の理論・指導法（中等）	2	選択	教育実習（中等）Ⅱ	3
必修	総合的な学習の時間の指導法（中等）	1	必修	教職実践演習（中等）	2

エ. 先に示した教科及び教科の指導法に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目等及び以下の大学が独自に設定する科目も含め 5 9 単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	生涯学習論	2	選択	授業実践演習（中等）	2
選択	発達障害概論	2	選択	アクティブラーニング演習	2
選択	持続可能な開発のための教育（ESD）	2	選択	多様な生徒の支援演習	2
選択	世界の教育事情とカリキュラム・マネジメント	2	選択	学校ボランティア（中等）Ⅰ	1
選択	ワーク・ライフ・バランス論	2	選択	学校ボランティア（中等）Ⅱ	1

5. 高等学校教諭一種免許状の取得に関する必要単位について

(1) 地理歴史

ア. 以下の教職免許法施行規則第 6 6 条の 6 に定める科目より、必修単位を含め 8 単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	日本国憲法	2	1 科目 選択必修	英語コミュニケーション（1）	2
必修	スポーツ（1）	1		英語コミュニケーション（2）	2
必修	スポーツ（2）	1	必修	情報処理	2

イ. 以下の教科及び教科の指導法に関する科目より、必修単位を含め 2 4 単位以上修得していること。

① 教科に関する専門的事項

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	日本史Ⅰ	2	必修	人文地理学	2
必修	日本史Ⅱ	2	必修	自然地理学	2
選択	日本史演習	2	選択	地理概説Ⅰ	2
選択	歴史概説Ⅰ	2	選択	地理概説Ⅱ	2
必修	外国史Ⅰ	2	選択	地理情報システム（GIS）演習	2
必修	外国史Ⅱ	2	必修	地誌概論	2
選択	外国史演習	2	必修	地誌	2
選択	歴史概説Ⅱ	2	選択	風土と内発的発展	2
選択	アジアの近代と社会	2			

②各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	地理歴史科指導法Ⅰ	2	選択	地理歴史科指導法Ⅱ	2

ウ. 以下の教育の基礎的理解に関する科目等より、必修単位を含め25単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	教育原理（中等）	2	必修	教育方法・技術論（中等）	2
必修	教職概論（中等）	2	必修	生徒・進路指導論（中等）	2
必修	教育経営・学校安全論（中等）	2	必修	教育相談（中等）	2
必修	教育心理学（中等）	2	必修	教育実習（中等）Ⅰ（2）	3
必修	特別の支援を必要とする生徒の理解	2	選択	教育実習（中等）Ⅰ（1）	5
必修	教育課程論（中等）	2	選択	教育実習（中等）Ⅱ	3
必修	総合的な学習の時間の指導法（中等）	1	必修	教職実践演習（中等）	2
必修	特別活動の指導法（中等）	1			

エ. 先に示した教科及び教科の指導法に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目等及び以下の大学が独自に設定する科目も含め59単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	生涯学習論	2	選択	授業実践演習（中等）	2
選択	道徳の理論・指導法（中等）	2	選択	アクティブラーニング演習	2
選択	発達障害概論	2	選択	多様な生徒の支援演習	2
選択	持続可能な開発のための教育（ESD）	2	選択	学校ボランティア（中等）Ⅰ	1
選択	世界の教育事情とカリキュラム・マネジメント	2	選択	学校ボランティア（中等）Ⅱ	1
選択	ワーク・ライフ・バランス論	2			

(2) 公民

ア. 以下の教職免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目より、必修単位を含め 8 単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	日本国憲法	2	1 科目	英語コミュニケーション (1)	2
必修	スポーツ (1)	1	選択必修	英語コミュニケーション (2)	2
必修	スポーツ (2)	1	必修	情報処理	2

イ. 以下の教科及び教科の指導法に関する科目より、必修単位を含め 24 単位以上修得していること。

①教科に関する専門的事項

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	法学Ⅰ	2	いずれか 1 科目 選択必修	哲学・倫理学	2
必修	国際法	2		宗教学	2
1 科目 以上 選択 必修	法学Ⅱ	2	1 科目以上選択 必修	心理学 (1)	2
	国際関係論	2		心理学 (2)	2
	環境法	2		環境倫理	2
	政治学	2		公共哲学	2
いずれ か 1 科目 選択 必修	社会学	2			
	経済学	2			
1 科目 以上 選択 必修	医療社会学	2			
	比較文化論	2			
	環境社会学	2			
	国際ジャーナリズム 論	2			
	問題解決のための国 際協働論	2			

②教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	公共演習	2	選択	人権演習	2
選択	平和演習	2			

③各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	社会科公民科指導法Ⅰ	2	選択	社会科公民科指導法Ⅲ	2
必修	社会科公民科指導法Ⅱ	2	選択	社会科公民科指導法Ⅳ	2

ウ. 以下の教育の基礎的理解に関する科目等より、必修単位を含め25単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	教育原理（中等）	2	必修	教育方法・技術論（中等）	2
必修	教職概論（中等）	2	必修	生徒・進路指導論（中等）	2
必修	教育経営・学校安全論（中等）	2	必修	教育相談（中等）	2
必修	教育心理学（中等）	2	必修	教育実習（中等）Ⅰ（2）	3
必修	特別の支援を必要とする生徒の理解	2	選択	教育実習（中等）Ⅰ（1）	5
必修	教育課程論（中等）	2	選択	教育実習（中等）Ⅱ	3
必修	総合的な学習の時間の指導法（中等）	1	必修	教職実践演習（中等）	2
必修	特別活動の指導法（中等）	1			

エ. 先に示した教科及び教科の指導法に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目等及び以下の大学が独自に設定する科目も含め59単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	生涯学習論	2	選択	授業実践演習（中等）	2
選択	道徳の理論・指導法（中等）	2	選択	アクティブラーニング演習	2
選択	発達障害概論	2	選択	多様な生徒の支援演習	2
選択	持続可能な開発のための教育（ESD）	2	選択	学校ボランティア（中等）Ⅰ	1
選択	世界の教育事情とカリキュラム・マネジメント	2	選択	学校ボランティア（中等）Ⅱ	1

選択	ワーク・ライフ・バランス論	2
----	---------------	---

(3)保健体育

ア. 以下の教職免許法施行規則第66条の6に定める科目より、必修単位を含め8単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	日本国憲法	2	1科目	英語コミュニケーション(1)	2
必修	スポーツ(1)	1	選択必修	英語コミュニケーション(2)	2
必修	スポーツ(2)	1	必修	情報処理	2

イ. 以下の教科及び教科の指導法に関する科目より、必修単位を含め29単位以上修得していること。

①教科に関する専門的事項

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	体づくり運動	1	必修	運動学	2
必修	器械体操	1	必修	生理学	2
必修	陸上	1	必修	スポーツ生理学	2
必修	水泳	1	選択	解剖学	2
必修	野球	1	必修	衛生学	2
必修	サッカー	1	必修	公衆衛生学	2
必修	バレーボール	1	必修	学校保健概論	2
必修	柔道	1	必修	救急処置法	2
必修	ダンス	1			
選択	バドミントン	1			
1科目 選択必修	スポーツ原理	2			
	スポーツ心理学	2			
	スポーツ経営管理論	2			
	スポーツ社会学	2			
	体育史	2			

②教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	陸上演習	2	選択	武道演習	2
選択	球技演習	2	選択	ダンス演習	2

③各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	保健体育科指導法Ⅰ	2	選択	保健体育科指導法Ⅲ	2
必修	保健体育科指導法Ⅱ	2	選択	保健体育科指導法Ⅳ	2

ウ. 以下の教育の基礎的理解に関する科目等より、必修単位を含め25単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	教育原理（中等）	2	必修	教育方法・技術論（中等）	2
必修	教職概論（中等）	2	必修	生徒・進路指導論（中等）	2
必修	教育経営・学校安全論（中等）	2	必修	教育相談（中等）	2
必修	教育心理学（中等）	2	必修	教育実習（中等）Ⅰ（2）	3
必修	特別の支援を必要とする生徒の理解	2	選択	教育実習（中等）Ⅰ（1）	5
必修	教育課程論（中等）	2	選択	教育実習（中等）Ⅱ	3
必修	総合的な学習の時間の指導法（中等）	1	必修	教職実践演習（中等）	2
必修	特別活動の指導法（中等）	1			

エ. 先に示した教科及び教科の指導法に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目等及び以下の大学が独自に設定する科目も含め59単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	生涯学習論	2	選択	授業実践演習（中等）	2
選択	道徳の理論・指導法（中等）	2	選択	アクティブラーニング演習	2
選択	発達障害概論	2	選択	多様な生徒の支援演習	2
選択	持続可能な開発のための教育（ESD）	2	選択	学校ボランティア（中等）Ⅰ	1
選択	世界の教育事情とカリキュラム・マネジメント	2	選択	学校ボランティア（中等）Ⅱ	1
選択	ワーク・ライフ・バランス論	2			

(4)英語

ア. 以下の教職免許法施行規則第66条の6に定める科目より、必修単位を含め8単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	日本国憲法	2	1科目	英語コミュニケーション(1)	2
必修	スポーツ(1)	1	選択必修	英語コミュニケーション(2)	2
必修	スポーツ(2)	1	必修	情報処理	2

イ. 以下の教科及び教科の指導法に関する科目より、必修単位を含め24単位以上修得していること。

①教科に関する専門的事項

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	英語学概論Ⅰ	2	選択	英語表現(writing)	2
必修	英語学概論Ⅱ	2	選択	英語表現(conversation)	2
必修	英語文学論(1)	2	選択	英語表現(presentation)	2
選択	英語文学論(2)	2	必修	異文化理解	2
必修	英語文学講読(1)	2	選択	異文化間コミュニケーション	2
選択	英語文学講読(2)	2	選択	国際関係論	2
必修	実践英語コミュニケーションⅠ	2	選択	比較文化論	2
必修	実践英語コミュニケーションⅡ	2	選択	国際ジャーナリズム論	2

②教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	英語演習(1)	2	選択	英語演習(2)	2

③各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	英語科指導法Ⅰ	2	選択	英語科指導法Ⅲ	2
必修	英語科指導法Ⅱ	2	選択	英語科指導法Ⅳ	2

ウ. 以下の教育の基礎的理解に関する科目等より、必修単位を含め25単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	教育原理（中等）	2	必修	教育方法・技術論（中等）	2
必修	教職概論（中等）	2	必修	生徒・進路指導論（中等）	2
必修	教育経営・学校安全論（中等）	2	必修	教育相談（中等）	2
必修	教育心理学（中等）	2	選択	教育実習（中等）Ⅰ（１）	5
必修	特別の支援を必要とする生徒の理解	2	必修	教育実習（中等）Ⅰ（２）	3
必修	教育課程論（中等）	2	選択	教育実習（中等）Ⅱ	3
必修	総合的な学習の時間の指導法（中等）	1	必修	教職実践演習（中等）	2
必修	特別活動の指導法（中等）	1			

エ. 先に示した教科及び教科の指導法に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目等及び以下の大学が独自に設定する科目も含め５９単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
選択	生涯学習論	2	選択	授業実践演習（中等）	2
選択	道徳の理論・指導法（中等）	2	選択	アクティブラーニング演習	2
選択	発達障害概論	2	選択	多様な生徒の支援演習	2
選択	持続可能な開発のための教育（ESD）	2	選択	学校ボランティア(中等)Ⅰ	1
選択	世界の教育事情とカリキュラム・マネジメント	2	選択	学校ボランティア(中等)Ⅱ	1
選択	ワーク・ライフ・バランス論	2			

６．特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）の取得に関する必要単位について

（１）小学校・中学校・高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有しているまたは取得見込

みであること。

(2) 以下の特別支援教育に関する科目より、必修単位を含め29単位以上修得していること。

区分	科目名	単位数	区分	科目名	単位数
必修	特別支援教育論	2	必修	聴覚障害教育総論	2
選択	障害児教育総論	2	必修	視覚障害教育総論	2
必修	知的障害児・者の心理・生理・病理	2	必修	発達障害概論	2
必修	肢体不自由児・者の心理・生理・病理	2	選択	発達障害教育指導法(1)	2
必修	病弱児・者の心理・生理・病理	2	選択	発達障害教育指導法(2)	2
必修	知的障害児・者への支援	2	選択	発達障害の判定とその教育的対応Ⅰ	1
必修	肢体不自由児・者への支援	2	選択	発達障害の判定とその教育的対応Ⅱ	1
必修	病弱児・者への支援	2	選択	自閉症児・者の心理	2
必修	知的障害教育総論	2	選択	自閉症児・者への支援	2
必修	肢体不自由教育総論	2	必修	教育実習(特別支援)	3
必修	病弱教育総論	2			

(教育実習の要件)

第5条 「教育実習」は、以下に掲げる要件を満たす者に限って履修できるものとする。

1. 共通要件

①総修得単位数

学士未取得者	学士既取得者
総修得単位数が93単位以上であること	なし

②ガイダンス

以下のガイダンス等に参加していること。

ガイダンス名	参加年度
教職課程ガイダンス	教職課程登録年度以降
教育実習ガイダンス	教育実習を履修する年度
教育実習内諾活動ガイダンス	教育実習内諾活動を行う年度

内諾活動事前面談	教育実習内諾活動を行う年度
介護等の体験ガイダンス	介護等の体験を行う年度（小・中のみ）

③本学で懲戒処分を受けていない者

2. 科目履修要件

①幼稚園教諭一種免許状

66条の6に関する科目	「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」の4区分のうち、3区分（6単位）以上修得していること。
領域及び保育内容の指導法に関する科目	【領域に関する専門的事項】より3科目以上 【保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）】より3科目以上を修得していること。
教育の基礎的理解に関する科目等	以下の必修5科目を修得していること。 「教育原理（初等）」「教職概論（初等）」「特別の支援を必要とする幼児・児童の理解」「教育課程論（初等）」「教育方法・技術論（初等）」

②小学校教諭一種免許状

66条の6に関する科目	「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」の4区分のうち、3区分（6単位）以上修得していること。
教科及び教科の指導法に関する科目	【教科に関する専門的事項】より5科目以上 【各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）】より5科目以上を修得していること。
教育の基礎的理解に関する科目等	以下の必修6科目以上を修得していること。 「教育原理（初等）」「教職概論（初等）」「特別の支援を必要とする幼児・児童の理解」「教育課程論（初等）」「道徳の理論・指導法（初等）」「教育方法・技術論（初等）」

③中学校教諭一種免許状（社会）

66条の6に関する科目	「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」の4区分のうち、3区分（6単位）以上修得していること。
教科及び教科の指導法に関する科目	以下の必須科目8科目を修得していること。 【教科に関する専門的事項】より「歴史概説Ⅰ」「歴史概説Ⅱ」「地理概説Ⅰ」「法学Ⅰ」の4科目修得必須。 「社会学」「経済学」のいずれか1科目及び「哲学・倫理学」「宗教学」のいずれか1科目

	【各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）】より 「社会科公民科指導法Ⅰ」「社会科公民科指導法Ⅱ」の2科目修得必須。
教育の基礎的理解 に関する科目等	以下の必修6科目を修得していること。 「教育原理（中等）」「教職概論（中等）」「特別の支援を必要とする生徒の理解」 「教育課程論（中等）」「道徳の理論・指導法（中等）」「教育方法・技術論（中等）」

④中学校教諭一種免許状（保健体育）

66条の6に関する科目	「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」の4区分のうち、3区分（6単位）以上修得していること。
教科及び教科の指導法に関する科目	以下の合計11科目を修得していること。 【教科に関する専門的事項】より必修科目（選択必須科目含む）9科目以上 【各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）】より 「保健体育科指導法Ⅰ」「保健体育科指導法Ⅱ」の2科目
教育の基礎的理解 に関する科目等	以下の必修6科目を修得していること。 「教育原理（中等）」「教職概論（中等）」「特別の支援を必要とする生徒の理解」 「教育課程論（中等）」「道徳の理論・指導法（中等）」「教育方法・技術論（中等）」

⑤中学校教諭一種免許状（英語）

66条の6に関する科目	「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」の4区分のうち、3区分（6単位）以上修得していること。
教科及び教科の指導法に関する科目	以下の必須9科目を修得していること。 【教科に関する専門的事項】より 「英語学概論Ⅰ」・「英語学概論Ⅱ」・「英語文学論（Ⅰ）」・「英語文学講読（Ⅰ）」 「実践英語コミュニケーションⅠ」「実践英語コミュニケーションⅡ」「異文化理解」 の7科目修得必須。 【各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）】より 「英語科指導法Ⅰ」「英語科指導法Ⅱ」の2科目修得必須。
教育の基礎的理解	以下の必修6科目を修得していること。

に関する科目等	「教育原理（中等）」「教職概論（中等）」「特別の支援を必要とする生徒の理解」 「教育課程論（中等）」「道徳の理論・指導法（中等）」「教育方法・技術論（中等）」
---------	--

⑥高等学校教諭一種免許状（地理歴史）

66条の6に関する科目	「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」の4区分のうち、3区分（6単位）以上修得していること。
教科及び教科の指導法に関する科目	以下の必須10科目を修得していること。 【教科に関する専門的事項】より 「日本史Ⅰ」・「日本史Ⅱ」・「外国史Ⅰ」・「外国史Ⅱ」「人文地理学」「自然地理学」「地誌概論」「地誌」の8科目修得必須。 【各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）】より 「地理歴史科指導法Ⅰ」「地理歴史科指導法Ⅱ」の2科目修得必須。
教育の基礎的理解に関する科目等	以下の必須5科目を修得していること。 「教育原理（中等）」「教職概論（中等）」「特別の支援を必要とする生徒の理解」 「教育課程論（中等）」「教育方法・技術論（中等）」

⑦高等学校教諭一種免許状（公民）

66条の6に関する科目	「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」の4区分のうち、3区分（6単位）以上修得していること。
教科及び教科の指導法に関する科目	以下の必須6科目を修得していること。 【教科に関する専門的事項】より「法学Ⅰ」「国際法」2科目必須。 「社会学」「経済学」のいずれか1科目及び「哲学・倫理学」「宗教学」のいずれか1科目 【各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）】より 「社会科公民科指導法Ⅰ」「社会科公民科指導法Ⅱ」の2科目修得必須。
教育の基礎的理解に関する科目等	以下の必須5科目を修得していること。 「教育原理（中等）」「教職概論（中等）」「特別の支援を必要とする生徒の理解」 「教育課程論（中等）」「教育方法・技術論（中等）」

⑧高等学校教諭一種免許状（保健体育）

66条の6に関する科目	「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」の4区分のうち、3区分（6単位）以上修得していること。
教科及び教科の指導法に関する科目	以下の合計11科目を修得していること。 【教科に関する専門的事項】より必修科目（選択必須科目含む）9科目以上 【各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）】より「保健体育科指導法Ⅰ」「保健体育科指導法Ⅱ」の2科目
教育の基礎的理解に関する科目等	以下の必須5科目を修得していること。 「教育原理（中等）」「教職概論（中等）」「特別の支援を必要とする生徒の理解」 「教育課程論（中等）」「教育方法・技術論（中等）」

⑨高等学校教諭一種免許状（英語）

66条の6に関する科目	「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」の4区分のうち、3区分（6単位）以上修得していること。
教科及び教科の指導法に関する科目	以下の必須9科目を修得していること。 【教科に関する専門的事項】より 「英語学概論Ⅰ」「英語学概論Ⅱ」「英語文学論（Ⅰ）」「英語文学講読（Ⅰ）」 「実践英語コミュニケーションⅠ」「実践英語コミュニケーションⅡ」 「異文化理解」の7科目修得必須。 【各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）】より 「英語科指導法Ⅰ」「英語科指導法Ⅱ」の2科目修得必須。
教育の基礎的理解に関する科目等	以下の必須5科目を修得していること。 「教育原理（中等）」「教職概論（中等）」「特別の支援を必要とする生徒の理解」 「教育課程論（中等）」「教育方法・技術論（中等）」

⑩特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）

次の科目を含めて、必修科目を7科目以上修得していること。

・「特別支援教育論」 ・「知的障害教育総論」 ・「肢体不自由教育総論」 ・「病弱教育総論」・「発達障害概論」

3. 特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）取得のための教育実習について

①基礎となる教員免許状を教育実習実施年度内に取得見込み、もしくは取得済みの場合のみ履修することができる。

②基礎となる教員免許の教育実習と同年度に履修する場合、その教育実習は基礎となる教員免許状の教育実習を先に行うこと。

（教育実践演習の要件）

第6条 「教職実践演習」を履修するためには、免許状取得に必要な単位を修得もしくは修得見込みでなければならない。

（教職課程登録申し込み）

第7条 本課程を履修しようとする者は、定められた期日までに「教職課程登録申込書」を教職総合支援センターに提出しなければならない。

（費用）

第8条 前条の届出をした者は定められた期日までに「教職課程登録費」および「教育実習管理費」を納入しなければならない。ただし、一旦納入した教職課程登録費用については、原則返金しない。

項 目	金 額	備 考
教職課程登録費	10,000円	教職課程を履修する者
教育実習管理費 （幼・小免）	50,000円	「教育実習（初等）（1）」を履修する者で、幼稚園・小学校教諭一種免許状の取得を希望する者
教育実習管理費 （幼・小免）	50,000円	「教育実習（初等）（2）」を履修する者で、幼稚園・小学校教諭一種免許状の取得を希望する者
教育実習管理費 （中・高免）	50,000円	「教育実習（中等）Ⅰ（1）」を履修する者で、中学校・高等学校教諭一種免許状の取得を希望する者
教育実習管理費 （中・高免）	50,000円	「教育実習（中等）Ⅰ（2）」「教育実習（中等）Ⅱ」を履修する者で、中学校・高等学校教諭一種免許状取得を希望する者
教育実習管理費 （特支免）	50,000円	「教育実習（特別支援）」を履修する者で、特別支援学校免許状の取得を希望する者

(有効期間)

第8条の2 教職課程登録の有効期間について、教育実習を伴う登録は教職実践演習、もしくは教育実習終了の年度末までとし、登録のみの場合は3年とする。

(改廃)

第9条 この規程の改廃は、別に定める規程管理規程による。

附則

この規程は、2006（平成18）年4月1日から施行する。

平成21.4.1 平成29.4.1

平成22.4.1 平成30.4.1

平成23.4.1 平成31.4.1

平成25.4.1 令和2.4.1

平成26.4.1 令和3.4.1

平成27.4.1 令和3.9.30

平成28.4.1 令和5.4.1

資料 2-1-4 令和 5（2023）年度 教職ガイダンス 実施状況とアンケート集計結果

ガイダンスの種類・目的

ガイダンス名	対象	目的
教職課程ガイダンス	本学で教職課程の履修を開始する学生	・星槎大学の「教員養成の理念」を理解し、教職に就くことの責任を自覚する。 ・教職課程における履修から教員免許申請までの流れについて、その概要を理解する。 ・在学中の学修計画を立て、学修上の努力と自己研鑽を積む心構えを身につける。
内諾活動ガイダンス	次年度に教育実習の実施を希望する学生	・教育実習の意義と実習依頼時の心構え、マナーを確認する。 ・教育実習実施に関する申請、履修要件、内諾を得るまでの流れ等を理解する。
内諾活動事前面接	次年度に教育実習の実施を希望する学生	・教育実習実施の適性等を確認する。
教育実習ガイダンス	教育実習実施年度の学生	・教育実習の目的を考え確認する。 ・教育実習の心構えを理解する。 ・教育実習中の諸注意を考え確認する。

1. 4 月実施

(1) 実施日時 2023 年 4 月 15 日（土）13：30～17：30

(2) 実施形態 Web ライブ（Zoom）（一部一定期間中のオンデマンドあり）

(3) 参加学生数

教職課程ガイダンス	内諾活動ガイダンス	内諾活動事前面接	教育実習ガイダンス
196 人	143 人	134 人	373 人

(4) 実施内容

時程	項目	概要
13:30～13:35	教職課程ガイダンス開始アナウンス	・教職課程ガイダンスの流れについて
13:35～13:45	教職総合支援センター長より挨拶・教職について	・教職を目指すことについて ・本学の「教員養成の理念」について

13:45～14:15	グループディスカッション	・グループディスカッション テーマ「私の目指す教師像とその理由」
14:15～14:30	発表	・グループごと発表
14:30～14:35	まとめ	・まとめ、振り返り
14:35～14:40	アンケート案内	・アンケートの案内
14:40～15:00	休憩	
15:00～15:15	内諾活動事前面接の準備・ Zoom 入室	・面接の流れ、評価の確認 ・面接学生の Zoom 入室管理
15:30～17:30	内諾活動事前面接	・面接を順次開始
17:30～	終了	

(5) 事後アンケート回答者数 (回答率)

教職課程ガイダンス	内諾活動ガイダンス	内諾活動事前面接	教育実習ガイダンス
141 人 (71.9%)	81 人 (56.6%)	アンケート実施なし	81 人 (21.7%)

(6) 事後アンケート回答結果

①教職課程ガイダンス

質問 1 「教職課程ガイダンス (事務的事項)」(オンデマンド方式) の時間はどうでしたか？

選択肢	回答
長い	1 人 (0.7%)
ちょうどよい	139 人 (98.6%)
短い	1 人 (0.7%)
合計	141 人 (100%)

質問「1」で「長い」もしくは「短い」を選んだ方は以下に理由をご記入ください。

選択肢	回答
長い	・無回答 (1 人)
短い	・無回答 (1 人)

質問 2 「教職課程ガイダンス (事務的事項)」(オンデマンド方式) の内容は今後活かそうですか？

選択肢	回答
十分活かせる	92 人 (65.3%)
やや活かせる	33 人 (23.4%)
どちらとも言えない	16 人 (11.3%)

あまり活かさない	0 人 (0%)
まったく活かさない	0 人 (0%)
合計	141 人 (100%)

質問「2」で「どちらとも言えない」以外を選んだ方は以下に理由をご記入ください。

選択肢	回答
十分活かせる	・学修計画、免許取得までのスケジュールが分かった (21 人) ・教育実習の姿勢、流れが分かった (5 人) ・とても分かりやすかった (1 人) ・星槎大学の理念がよく理解できた (1 人)
やや活かせる	・スケジュールや手続きが分かりやすかった、手続きが済んでいない部分の確認になった (7 人) ・他の学生の様子がわかった (1 人) ・内容は参考になるのでいつでも視聴できるようにしてほしい (1 人)
あまり活かさない	—
まったく活かさない	—

質問3 「教職課程ガイダンス（事務的事項）」（オンデマンド方式）で特に印象に残っていることは何ですか？（項目を記入してください。）

回答
・教育実習の心構え、スケジュール (39 人) ・教員免許取得までの流れ (35 人) ・学修計画 (10 人) ・星槎大学の共生の理念、星槎大学が目指す教師像 (5 人) ・グループワーク、全国の学生との交流 (5 人) ・内諾活動の説明、内諾活動のスケジュール (2 人) ・分かりやすかった、文字だけでは分からないことが分かった (2 人) ・動画がすべて役に立った (2 人) ・教職実践演習について (1 人) ・細々とした事務的なことが多く勉強に集中できるか不安 (1 人) ・資料の内容 (1 人) ・資料と重複している (1 人) ・先輩の体験談 (1 人) ・学生ページの見方 (1 人) ・介護等体験について確認できた (1 人)

- ・教員としての心構え（1人）
- ・特になし（3人）

質問4 「教職課程ガイダンス（教育的事項）」（Web ライブ方式）の時間はどうでしたか？

選択肢	回答
長い	2人（1.4%）
ちょうどよい	131人（92.9%）
短い	8人（5.7%）
合計	141人（100%）

質問「4」で「長い」もしくは「短い」を選んだ方は以下に理由をご記入ください。

選択肢	回答
長い	・ただ他の学生と話をする時間だった（1人） ・グループワークが長い（1人）
短い	・もう少しグループワークの時間がほしかった（8人）

質問5 「教職課程ガイダンス（教育的事項）」（Web ライブ方式）の内容は今後に活かそうですか？

選択肢	回答
十分活かせる	88人（62.5%）
やや活かせる	37人（26.2%）
どちらとも言えない	15人（10.6%）
あまり活かさない	0人（0%）
まったく活かさない	1人（0.7%）
合計	141人（100%）

質問「5」で「どちらとも言えない」以外を選んだ方は以下に理由をご記入ください。

選択肢	回答
十分活かせる	・グループワークで様々な意見が聞けたこと、グループワークにより目指す教師像が明確になったこと（31人）
やや活かせる	・グループワークで色々な学生の意見を聞けた（12人） ・基本的な理念は再確認できたが新しい発見は少なかった（1人） ・もっと濃い内容を聞きたかった（1人） ・実習の心構え（1人）

あまり活かさない	—
まったく活かさない	・自分とは違う教員免許状取得予定の学生でアドバイスを受けることができなかった（1人）

質問6 「教職課程ガイダンス（教育的事項）」（Web ライブ方式）で特に印象に残っていることは何ですか？（項目を記入してください。）

回答
・グループワーク、他の学生の意見、仲間と話し合えたこと（106人） ・教育実習生としてのありがた、心構え（5人） ・事務局だけではなく教員の話を聞けたこと（5人） ・星槎大学の理念、共生（3人） ・大切なことがよく分かった（1人）

質問7 「教職課程ガイダンス（事務的事項・教育的事項）」の感想を簡単に記入してください。

回答
・グループワーク、多様な意見交流、他の学生の意見や交流がモチベーションになった（80人） ・教育実習に向けての準備、心構え（10人） ・これから頑張りたいと思った、頑張って教員免許取得を目指したい（6人） ・今後に活かしたい、活かせる（6人） ・スケジュールの理解（6人） ・共生の理念、学校の方針の理解（3人） ・分かりやすかった、不安が取れた（2人） ・時間配分は適切だった（2人） ・事務的事項をまとめてもよい、教育的事項はもっと時間を取ってもよい（2人） ・連絡事項や必要書類の漏れがないように連絡を密にしたい（1人） ・有意義なものにしてほしい（1人） ・もっと期限など厳しく言ってほしい（1人） ・全国でつなぐと自分は狭い世界にいると感じた（1人） ・教師になる自覚がまだ足りない（1人） ・早く教師になりたいと思った（1人） ・特になし（1人）

②内諾活動ガイダンス

質問1 「内諾活動ガイダンス」の時間はどうか？

選択肢	回答
長い	1 人 (1.2%)
ちょうどよい	79 人 (97.6%)
短い	1 人 (1.2%)
合計	81 人 (100%)

質問「1」で「長い」もしくは「短い」を選んだ方は以下に理由をご記入ください。

選択肢	回答
長い	・自分が対象にならない話が多かった (1 人)
短い	・聞きたいことが聞けず終了となった (1 人)

質問2 「内諾活動ガイダンス」の内容は今後に活かそうですか？

選択肢	回答
十分活かせる	50 人 (61.8%)
活かせる	26 人 (32.1%)
どちらとも言えない	4 人 (4.9%)
あまり活かさない	1 人 (1.2%)
まったく活かさない	0 人 (0%)
合計	81 人 (100%)

質問「2」で「どちらとも言えない」以外を選んだ方は以下に理由をご記入ください。

選択肢	回答
十分活かせる	・教育実習の心構え、姿勢 (9 人) ・内諾活動の流れ (4 人) ・グループワーク (5 人) ・今後のスケジュール (1 人) ・面接時の緊張感は採用試験で役立つ (1 人)
活かせる	・教育実習の姿勢、心構え、やるべきこと (5 人) ・内諾活動の心構え、手続き (4 人)
あまり活かさない	・無回答 (1 人)
まったく活かさない	—

質問3 「内諾活動ガイダンス」で特に印象に残っていることは何ですか？（項目を記入してください。）

回答
・実習の心得、流れ（29人） ・教員からの話、面接教員との話（18人） ・内諾活動の心構え（9人） ・グループワーク（8人） ・心構え（3人） ・学修計画について（2人） ・教師を目指すうえで大切なこと（1人） ・ほうれんそうの基本（1人） ・教育法第9条について（1人） ・特になし（1人）

質問4 「内諾活動ガイダンス」の感想を簡単に記入してください。

回答
・教育実習に臨む姿勢、流れ、やることが明確になった（23人） ・内諾活動の心構え、流れ、注意事項（16人） ・グループワークで色々な学生と話せてよかった、全国の学生と交流できた（13人） ・教員と話ができてよかった、教員との面接（8人） ・将来に活かしていきたい、がんばりたい、目標に向かっていきたい（6人） ・教員になりたいと思ったきっかけを大切にしたい、改めて自分の考えをまとめられた（6人） ・分かりやすかった、勉強になった（4人） ・何も分からないことばかりで正直イメージがつかみづらい（1人）

③教育実習ガイダンス

質問1 「教育実習ガイダンス」の時間はどうでしたか？

選択肢	回答
長い	1人（1.2%）
ちょうどよい	80人（98.8%）
短い	0人（0%）
合計	81人（100%）

質問「1」で「長い」もしくは「短い」を選んだ方は以下に理由をご記入ください。

選択肢	回答
長い	—
短い	・もう少し具体的なお話があると一層良い（1人）

質問2 「教育実習ガイダンス」の内容は今後に活かそうですか？

選択肢	回答
十分活かせる	51人（63.0%）
やや活かせる	20人（24.7%）
どちらとも言えない	10人（12.3%）
あまり活かさない	0人（0%）
まったく活かさない	0人（0%）
合計	81人（100%）

質問「2」で「どちらとも言えない」以外を選んだ方は以下に理由をご記入ください。

選択肢	回答
十分活かせる	・実習の心構え、準備（12人） ・しおりの内容を再確認（2人） ・教員の話で現場の実態を知った（1人）
やや活かせる	・教育実習の心構え、動きが分かった（9人） ・ガイダンスは分かりやすかった（1人） ・事務的な説明は再度確認のために必要（1人）
あまり活かさない	—
まったく活かさない	—

質問3 「教育実習ガイダンス」で特に印象に残っていることは何ですか？（項目を記入してください。）

回答
・教育実習の心得、心構え（59人） ・センター長の話、講話（11人）

質問4 「教育実習ガイダンス」の感想を簡単に記入してください。

回答
・教育実習の心構え、しおりの再確認、教育実習に対する再認識、気が引き締まった（45人）

- ・分かりやすかった、よかった（17人）
- ・早口の説明だった（4人）
- ・教員の説明をもう少しゆっくりとってもらいたかった（1人）
- ・教育実習についてよりイメージが沸くものだと良い（1人）
- ・長すぎずちょうどよかった（1人）
- ・特になし（2人）

2. 5月実施

（1）実施日時 2023年5月21日（日）13：30～17：30

（2）実施形態 Web ライブ（Zoom）（一部一定期間中のオンデマンドあり）

（3）参加学生数

教職課程ガイダンス	内諾活動ガイダンス	内諾活動事前面接
271 人	247 人	247 人

（4）実施内容

時程	項目	概要
13:30～13:35	教職課程ガイダンス開始アナウンス	・教職課程ガイダンスの流れについて
13:35～13:45	教職総合支援センター長より挨拶・教職について	・教職を目指すことについて ・本学の「教員養成の理念」について
13:45～14:15	グループディスカッション	・グループディスカッション テーマ「私の目指す教師像とその理由」
14:15～14:30	発表	・グループごと発表
14:30～14:35	まとめ	・まとめ、振り返り
14:35～14:40	アンケート案内	・アンケートの案内
14:40～15:00	休憩	
15:00～15:15	内諾活動事前面接の準備・Zoom 入室	・面接の流れ、評価の確認 ・面接学生の Zoom 入室管理
15:30～17:30	内諾活動事前面接	・面接を順次開始
17：30～	終了	

（5）事後アンケート回答者数（回答率）

教職課程ガイダンス	内諾活動ガイダンス	内諾活動事前面接
178 人（65.7%）	151 人（61.1%）	アンケート実施なし

(6) 事後アンケート回答結果

①教職課程ガイダンス

質問1 「教職課程ガイダンス(事務的事項)」(オンデマンド方式)の時間はどうでしたか?

選択肢	回答
長い	4 人 (2.2%)
ちょうどよい	172 人 (96.7%)
短い	2 人 (1.1%)
合計	178 人 (100%)

質問「1」で「長い」もしくは「短い」を選んだ方は以下に理由をご記入ください。

選択肢	回答
長い	・グループワークがもう少し短くてもよい。時間が余ったため。(1 人) ・話が早く終わってしまったし、(参加者に) 年上の教員の方が多く色々勉強にはなったが、盛り上がってて私はあまり発言できなかった。(1 人) ・資料でも目を通していたところも出ていたので、少し長く感じてしまった。(1 人)
短い	・もっと、どこが大事なのかや、細かい説明も必要。(1 人) ・グループワークで話が盛り上がり終わらなかった。(1 人)

質問2 「教職課程ガイダンス(事務的事項)」(オンデマンド方式)の内容は今後に活かそうですか?

選択肢	回答
十分活かせる	104 人 (58.4%)
やや活かせる	47 人 (26.4%)
どちらとも言えない	25 人 (14.0%)
あまり活かせない	1 人 (0.6%)
まったく活かせない	1 人 (0.6%)
合計	178 人 (100%)

質問「2」で「どちらとも言えない」以外を選んだ方は以下に理由をご記入ください。

選択肢	回答
十分活かせる	・今後の流れ、やるべきこと、学修の流れ、学修計画、免許申請までが理解できた。(12 人) ・教育実習への心構えができた、実習について深く考えることができた。(6 人)

	・グループワークが活かせる、教育現場で働いている学生の意見が今後活かせる。(4人) ・必要事項、重要事項が理解できた。(4人) ・学習意欲がわいた。(1人) ・免許状の取得方法が今後活かそう。(1人)
やや活かせる	・今後のスケジュールや流れが分かった、学修ペースが具体的に分かった、申請までの流れを理解できた。(14人) ・教育実習の心構えができた、内諾について理解できた。(3人) ・他の学生の教職を目指す色々な意見が聞けた。(3人) ・授業づくりについて(1人) ・支援を必要とするこどもの学びについて(1人)
あまり活かさない	・無回答(1名)
まったく活かさない	・学修計画を立てる際のポイントが、今後スクーリング受講や修得試験を受けるときに活かそう。(1名)

質問3 「教職課程ガイダンス(事務的事項)」(オンデマンド方式)で特に印象に残っていることは何ですか?(項目を記入してください。)

回答
・教育実習の説明、教育実習までのスケジュール、教育実習の心構え、教育実習の注意事項(66人) ・グループワーク、グループディスカッション(23人) ・学修計画(18人) ・説明が分かりやすかった、見やすかった。(12人) ・内諾活動について、内諾の流れ(5人) ・教師になるということ、理想の教師について、教師という職についてのやりがい(5人) ・免許取得までの流れ(4人) ・免許申請、個人申請(4人) ・オンデマンドのやり方(2人) ・提出物について、自分で定期的に確認することについて(2人) ・教職実践演習について(1人) ・全て(1人) ・教育基本法を覚えておくこと(1人) ・講師からのフィードバック(1人) ・特になし(3人)

質問4 「教職課程ガイダンス（教育的事項）」（Web ライブ方式）の時間はどうでしたか？

選択肢	回答
長い	4 人 (2.2%)
ちょうどよい	170 人 (95.6%)
短い	4 人 (2.2%)
合計	178 人 (100%)

質問「4」で「長い」もしくは「短い」を選んだ方は以下に理由をご記入ください。

選択肢	回答
長い	・グループワークの時間はもう少し短くてもよい。(1 人) ・全体像がつかめなかった。(1 人)
短い	・ディスカッションの時間不足のため。(3 人) ・他グループの意見発表をもう少し聞きたかった。(1 人)

質問5 「教職課程ガイダンス（教育的事項）」（Web ライブ方式）の内容は今後に活かそうですか？

選択肢	回答
十分活かせる	122 人 (68.5%)
やや活かせる	37 人 (20.8%)
どちらとも言えない	18 人 (10.1%)
あまり活かさない	1 人 (0.6%)
まったく活かさない	0 人 (0%)
合計	178 人 (100%)

質問「5」で「どちらとも言えない」以外を選んだ方は以下に理由をご記入ください。

選択肢	回答
十分活かせる	・様々な他の学生の教師像が聞けたこと。(30 人) ・教育実習の心構えについて (4 人) ・教職を学ぶ決意、自覚 (3 人) ・説明が今後の学びに活かせる。(1 人) ・共に学ぶ仲間がいることについて (1 人)
やや活かせる	・グループディスカッションで様々な意見を聞けたこと。(12 人) ・教育委員会が示す教師像をよく調べておきたい。(1 人) ・教師という職業についての教員からの言葉が活力になった。

	(1 人)
あまり活かさない	・全体像がつかめない。(1 人)
まったく活かさない	—

質問 6 「教職課程ガイダンス（教育的事項）」(Web ライブ方式) で特に印象に残っていることは何ですか？（項目を記入してください。）

回答
・グループワーク、グループディスカッション、教師像について意見交換（11 人） ・教育実習の心得、留意点（13 人） ・教員からの総括や説明（7 人） ・免許取得について、学修スケジュール（6 人） ・全て（1 人） ・特になし（2 人）

質問 7 「教職課程ガイダンス（事務的事項・教育的事項）」の感想を簡単に記入してください。

回答
・グループディスカッションでの多様な立場の他学生との意見交換、多様な教師像を聞いたこと（121 人） ・教育実習に向けての意欲、意識（10 人） ・これからへの意欲、頑張ろうと思った（5 人） ・学修計画、免許取得までの流れ（3 人） ・教師になるという心構え、自覚、教師のやりがい、なりたい気持ちが強まった（5 人） ・話し合いが長かった、もっと教員の話を知りたいと思った（1 人） ・Zoom の使用が初めてで難しかった（1 人） ・Zoom の使い方を教えてもらって分かりやすかった（1 人） ・パワーポイントの資料等がダウンロードできるとよかった（1 人） ・勉強になった、丁寧に教えてもらった（2 人） ・情報量が盛りだくさん（1 人） ・特になし（2 人）

②内諾活動ガイダンス

質問1 「内諾活動ガイダンス」の時間はどうか？

選択肢	回答
長い	1 人 (0.7%)
ちょうどよい	150 人 (99.3%)
短い	0 人 (0%)
合計	151 人 (100%)

質問「1」で「長い」もしくは「短い」を選んだ方は以下に理由をご記入ください。

選択肢	回答
長い	・30 分のグループディスカッションでなかなか発言が無いと長く感じた (1 人)

質問2 「内諾活動ガイダンス」の内容は今後に活かそうですか？

選択肢	回答
十分活かせる	65 人 (43.0%)
活かせる	71 人 (47.0%)
どちらとも言えない	14 人 (9.3%)
あまり活かさない	1 人 (0.7%)
まったく活かさない	0 人 (0%)
合計	151 人 (100%)

質問「2」で「どちらとも言えない」以外を選んだ方は以下に理由をご記入ください。

選択肢	回答
十分活かせる	・教育実習に向けての流れ、内諾活動時の注意点や流れ (11 人) ・グループワーク、ディスカッション (2 人) ・教員からの説明 (2 人) ・教員になりたい気持ちの高まり (1 人)
活かせる	・内諾活動の心構え、方法、進め方 (16 人) ・学修スケジュール、教育実習までの流れ、教育実習要件 (8 人) ・ディスカッション、教員からの話 (5 人) ・今後どのようなことにも活かそう (1 人)
あまり活かさない	・抽象的で分かりにくかった (1 人)

まったく活かさない	—
-----------	---

質問3 「内諾活動ガイダンス」で特に印象に残っていることは何ですか？（項目を記入してください。）

回答
・教育実習の心構え、提出物（57人） ・内諾活動の心構え（23人） ・学修計画、スケジュール（11人） ・教員との面談、教員との面接練習（10人） ・グループディスカッション（10人） ・教員からの話（7人） ・どのような教師になりたいか（2人） ・身だしなみ（2人） ・説明が分かりやすかった、すべて参考になった（2人） ・教員採用について（1人） ・特になし（1人）

質問4 「内諾活動ガイダンス」の感想を簡単に記入してください。

回答
・教育実習の心構え、自覚、手続きへの理解（53人） ・説明が分かりやすかった、今後のスケジュールが分かった（31人） ・内諾活動の進め方についての理解（13人） ・動画が繰り返し見られること、動画を元にして分かりやすかった（2人） ・教師になることの責任、教員になりたい思いが強まった（8人） ・グループディスカッションがよかった（8人） ・教員との面接で耳を傾けてくれたこと（5人） ・現役学生の年代ではないのでより身だしなみなどに気を付けたい（1人） ・とても大変そうだった、社会人としてスケジュールを立てる大変さ（2人） ・体験談があると分かりやすかった（1人） ・実施することが多くて不安が多い（1人） ・教員の話と該当ページを示してほしい（1人）

3. 10月実施

(1) 実施日時 2023年10月14日(土) 13:30~14:40

(2) 実施形態 Webライブ(Zoom)(一部一定期間中のオンデマンドあり)

(3) 参加学生数

教職課程ガイダンス
62人

(4) 実施内容

(5) 事後アンケート回答者数(回答率)

教職課程ガイダンス
42人(67.7%)

(6) 事後アンケート回答結果

質問1 「教職課程ガイダンス(事務的事項)」(オンデマンド方式)はどうでしたか?

選択肢	回答
良かった	29人(69.1%)
やや良かった	9人(21.4%)
どちらでもない	3人(7.1%)
やや悪かった	1人(2.4%)
悪かった	0人(0%)
合計	42人(100%)

質問2 1でそう思った理由をお聞かせください。

1の選択内容	回答
良かった	・説明がわかりやすかった、理解できた、今後の見通しがたった(19人) ・他の参加者や現職の参加者、違う経験や立場の参加者の意見を聞いた(4人) ・オンデマンドの利点(いつでも、繰り返し見れる)(4人) ・どのような思いで大学運営しているか知れた(1人) ・無回答(1人)
やや良かった	・内容を再確認できた、再確認出来て安心、ポイントをおさえられた(4人) ・発話が聴き取りづらい部分あり、もう少しかみ砕いて説明してほしい(2人) ・自分の都合に合わせて見られる(1人)

	・グループディスカッションがよかった（1人） ・無回答（1人）
どちらでもない	・必要な知識を得ることができた（1人） ・教育実習の手続き等すでに終了している内容もあり残念（2人）
やや悪かった	・同じ立場の科目等履修生とも話したかった（1人）
悪かった	—

質問3 10月14（土）にリアルタイムで受講された「教職課程ガイダンス（教育的事項）」（Web ライブ方式）はどうでしたか？

選択肢	回答
良かった	37人（88.1%）
やや良かった	5人（11.9%）
どちらでもない	0人（0%）
やや悪かった	0人（0%）
悪かった	0人（0%）
合計	42人（100%）

質問4 3でそう思った理由をお聞かせください。

選択肢	回答
良かった	・グループディスカッションがよかった、様々な経験の人の話を聞いた、他の学生の教師像や意見を聞いた。（33人） ・Zoom でできたことがよかった。（1人） ・無回答（3人）
やや良かった	・自分と年齢、状況が全く異なる人と意見交換ができて貴重な時間だった、色々な人が大学で学んでおり自分の意見がさらに深まった。（2人） ・実際に現場で働いている人の目指す教師像が聞いた。（1人） ・知りたいことが知れた。（1人） ・頑張ろうと思えた。（1人）
どちらでもない	—
やや悪かった	—
悪かった	—

資料 2-1-5 教職課程履修カルテ・履修カルテ（自己評価）

①「教職課程履修カルテ」

小学校免許状

学籍番号

氏名

専攻

※専攻は科目等履修生は記入不要

区分	科目名	総単位	修得年度	担当教員	評価	自己評価	今後の課題
教科に関する専門的事項	教科(国語)						
	教科(社会)						
	教科(算数)						
	教科(理科)						
	教科(生活)						
	教科(音楽)						
	教科(図画工作)						
	教科(家庭)						
	教科(体育)						
	教科(外国語)						

区分	科目名	総単位	修得年度	担当教員	評価	自己評価	今後の課題
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	初等教科教育法（国語）						
	初等教科教育法（社会）						
	初等教科教育法（算数）						
	初等教科教育法（理科）						
	初等教科教育法（生活）						
	初等教科教育法（音楽）						
	初等教科教育法（図画工作）						
	初等教科教育法（家庭）						
	初等教科教育法（体育）						
	初等教科教育法（外国語）						
教育の基礎的理解に関する	教育原理(初等)						
	教職概論(初等)						
	教育経営・学校安全論(初等)						

区分	科目名	総単位	修得年度	担当教員	評価	自己評価	今後の課題
教育の基礎的科目に関する理解に關する	教育心理学(初等)						
	特別の支援を必要とする幼児・児童の理解						
	教育課程論(初等)						
導道、徳、教、育総合的等な学習に学習する時間科目等の指導方法及び生徒指導	道徳の理論・指導法(初等)						
	総合的な学習の時間の指導法(初等)						
	特別活動の指導法(初等)						
	教育方法・技術論(情報通信技術の活用含む)(初等)						
	生徒・進路指導論(初等)						
	教育相談(初等)						
科目に教育実習する経	教育実習(初等)(1) または 教育実習(初等)(2)						

介護等体験について

学校ボランティアについて

【留意点】

- ・このカルテは4年次に履修する「教職実践演習」の提出課題となるほか、今までの学修状況の振り返りとなります。
- ・3月または9月の単位認定ごとに記入してください。
- ・4年の「教職実践演習」受講年度の単位認定前の科目については記入時点での振り返りを記入して空欄が無いようにしてください。
- ・「修得年度」の欄は4月～翌年3月の学校暦としての年度を記入してください。
- ・他大学で修得された科目については、他大学の様式の「教職課程履修カルテ」をご提出ください。準備ができない場合は教職実践演習履修年度の年度はじめに教職総合支援センターまでご相談ください。
- ・介護等体験、学校ボランティアは実施された場合のみ記入ください。

②「履修カルテ(自己評価)」 ※全校種・教科共通、19・20カリキュラム、13・14カリキュラム共通の様式です。

学籍番号()氏名()専攻() ※専攻は科目等履修生は記入不要

<活用方法>

①「5段階自己評定」欄は、「事前指導後」「教育実習後」それぞれの時期において、各指標について自分の現在の状態を5段階(5－そうである 4－ややそうである 3－どちらでもない 2－やや不足している 1－不足している)で評価する。

②「自己の課題」欄は各指標について教育実習を通して自分自身が感じた課題について具体的に記入する。

項目	指標	5段階自己評定		自己の課題(教育実習後に自己の課題を記載する)
		事前指導後	教育実習後	
教育に対する情熱・使命感	教育に対する情熱・使命感を高めるための努力をしている			
教育の重要性の認識	教育の重要性と社会的意義・責任を深く認識している。			
教科教育に関する専門的知識	取得する免許に関する専門的知識を十分に有している。			
授業実践に関する力量	授業あるいは模擬授業、プレゼンテーションなどを通じて授業実践に関する力量を高めようとしている。			
子どもとともに歩む姿勢	子どもを一人の人間として尊敬し、共に成長する存在となることを目指している。			
子どもとのかわりの経験	学校ボランティア等を通じて、積極的に子どもと触れ合う機会を持つようとしている。			
幅広い教養	一般常識を踏まえ、社会人として必要となる教養を身につけている。			
社会性と協調性を兼ね備えた人間性	他者と積極的に交流し、共同して作業を行うことができる。			

資料 2-2-1 令和 5（2023）年度 教員採用試験対策講座 実施状況とアンケート集計結果

1. 春期 教員採用試験対策講座

（1）申込期間 2023 年 4 月 1 日（土）～4 月 7 日（金）

（2）実施日時 2023 年 4 月 16 日（日）10：00～17：00

（3）実施方法 Zoom

（4）実施内容

時程	項目	概要
10：00～10：15	スケジュール説明	・本日のスケジュール説明 ・教員自己紹介
10：15～10：20	教職総合支援センター長挨拶	・挨拶
10：20～11：00	教員採用試験について	・教員採用試験の最新情報
11：00～11：20	新「生徒指導提要」について	・新「生徒指導提要」の説明
11：20～11：30	休憩	
11：30～11：45	教育の情報化について	・文部科学省の情報化政策を中心に説明
11：45～12：00	論作文について	・論作文を書く上での注意点とポイント
12：00～12：15	個人面接について	・個人面接のポイント
12：15～12：30	模擬授業について	・模擬授業のポイント
12：30～13：30	お昼休憩	
13：30～14：05	場面指導についての実習（グループ実習）	・初等、中等、特別支援学校の学校種に分かれてグループごとに実習
14：05～14：20	場面指導についてのまとめ	・場面指導のポイント
14：20～14：30	休憩	
14：30～15：00	教員採用試験合格者の体験談	・初等、中等（英語）、中等（保健体育）、中等（社会）、特別支援学校へ合格し現職教員として勤務中の卒業生の体験談
15：00～15：30	教員採用試験合格者へ質疑応答（グループ実習）	・教員採用試験合格者を囲んでグループごとに実習
15：30～15：40	休憩	
15：40～16：50	模擬授業・個人面接・集団面接・その他相談対応（グループ実習）	・事前に対策希望を挙げた対策内容での実習

16：50～17：00	本日のまとめ・閉会	・まとめ
-------------	-----------	------

(5) 受講者数 37 名

(6) アンケート実施期間 当日終了直後から 4 月 24 日（月）まで

(7) アンケート回答者数 20 名（回答率 54.1%）

(8) アンケート結果（匿名回答）

質問 1. 全体の感想を下記より 1 つお選びください

選択肢	回答
良かった	18 人 (90%)
やや良かった	2 人 (10%)
どちらでもない	0 (0%)
やや悪かった	0 (0%)
悪かった	0 (0%)
合計	20 人 (100%)

質問 2. 1 でそう思った理由をお書きください

回答内容	回答
合格者の話、先生のアドバイス	10 人 (50%)
イメージできた、具体的に学べた、情報を得てやることがわかった、わかりやすい	8 人 (40%)
仲間がいて感じた	1 人 (5%)
ブレイクアウトがよかった	1 人 (5%)
合計	20 人 (100%)

質問 3. 特に印象に残った講座内容があればお書きください

回答内容	回答
合格者の体験談	9 人 (45%)
グループワーク	5 人 (25%)
論作文、面接、場面指導などの個別の内容	5 人 (25%)
すべて	1 人 (5%)
合計	20 人 (100%)

質問 4. 採用試験合格者体験談についての感想をお書きください

回答内容	回答
実際の対策を知ることができた	7 人 (35%)

貴重な話だった、分かりやすかった、様々な対策を聞いた	5 人 (25%)
採用試験への意気込み、こどもの未来を支える重みを感じた	4 人 (20%)
今後に向けて参考になった	2 人 (10%)
自分も頑張ろうと思った	1 人 (5%)
面接のことを聞いてよかった	1 人 (5%)
合計	20 人 (100%)

2. 夏期 オンデマンド講座

(1) 申込期間 2023 年 6 月 16 日 (金) ～ 8 月 12 日 (土)

(2) 実施期間 2023 年 7 月 1 日 (土) ～ 8 月 31 日 (木)

(3) 実施方法 オンデマンド

(4) 実施内容

項目	概要
教員採用試験の最新事情	・教員採用試験の最新情報 ・新「生徒指導提要」について
教育の情報化について	・文部科学省の情報化政策を中心に
論作文について	・論作文を書く上での注意点とポイント
個人面接について	・個人面接のポイントを指導
模擬授業について	・模擬授業のポイントを指導
場面指導について	・場面指導のポイントを指導
教員採用試験合格者の体験談	・教員採用試験に合格し教職に就いている卒業生の、採用試験対策と教職のやりがいについて

(5) 受講者数 26 名

(6) アンケート実施期間 2023 年 8 月 15 日 (火) ～ 9 月 9 日 (土)

(7) アンケート回答者数 11 名 (回答率 42.3%)

(8) アンケート結果 (匿名回答)

質問 1. 全体の感想を下記より 1 つお選びください

選択肢	回答
良かった	6 人 (54.5%)
やや良かった	5 人 (45.5%)
どちらでもない	0 人 (0%)
やや悪かった	0 人 (0%)

悪かった	0 人 (0%)
合計	11 人 (100%)

質問 2. 1 でそう思った理由をお書きください

選択肢	回答
合格者の話は今後の学修計画に活かせる	5 人 (45.4%)
分かりやすかった、2 次試験対策を分かりやすく学べた	3 人 (27.3%)
参考になった、情報を得られた	2 人 (18.2%)
具体的だった	1 人 (9.1%)
合計	11 人 (100%)

質問 3. 特に印象に残った講座内容があればお書きください

回答内容	回答
合格者体験談	4 人 (36.3%)
模擬授業の講座	2 人 (18.2%)
勉強について、勉強の開始時間	2 人 (18.2%)
論作文の講座	1 人 (9.1%)
個人面接の講座	1 人 (9.1%)
特になし	1 人 (9.1%)
合計	11 人 (100%)

質問 4. 採用試験合格者体験談についての感想をお書きください

回答内容	回答
勉強量、勉強方法、開始時期、勉強に用いた教材やサイトが具体的でよかった	5 人 (45.4%)
モチベーションが高まった、自分も頑張ろうという気持ちになった	3 人 (27.3%)
参考になった、自分も進めやすい	3 人 (27.3%)
合計	11 人 (100%)

3. 夏期 個別対策講座

- (1) 申込期間 2023 年 8 月 1 日 (火) ～8 月 12 日 (土)
- (2) 実施期間 2023 年 8 月 1 日 (火) ～8 月 31 日 (木)
- (3) 実施方法 希望する対策内容により Zoom もしくは対面実施

(4) 受講者数 7 名

(5) 個別対策講座実施内容 (2 次試験対策・申し込み順)

No.	受験先	受験する学校種・教科	実施方法	実施内容
1	川崎市	小学校	Zoom	場面指導 面接
2	茨城県	中学校 (社会)	Zoom	面接 論作文
3	福岡県	小学校	Zoom	模擬授業
4	東京都	中学校 (英語)	Zoom	英語実技 面接
5	神奈川県	中学校 (保健体育)	対面	体育実技
6	神奈川県	中学校 (保健体育)	対面	体育実技
7	香川県	特別支援学校	Zoom	模擬授業 面接

資料 2-2-2 星槎大学学生ポータルサイト「就職情報の提供」
学生ポータルサイト画面例

日私教研 研究報告会のご案内

編集

教員志望の方向けに、私学の中等教育に関する研究報告会の案内が届いたのでお知らせします。

記事内容省略

【掲載日】 2024/12/12

東京都教育委員会 教員志望者向け個別相談会

編集

東京都教育委員会より、教員希望者を対象とした個別相談会の案内が届きました。
以下の案内をご確認のうえ、ご不明な点等は掲載元へ直接お問い合わせください。

記事内容省略

お問い合わせ：東京都教育庁 人事部選考課選考担当 03-5320-6787

【掲載日】 2024/12/5

石川県教育委員会 教員採用試験 説明会

編集

石川県教育委員会より、令和8年度教員採用試験の説明会のご案内が届きました。

記事内容省略

【掲載日】 2024/12/4

令和7年度「ちば！教職たまごプロジェクト」のご案内

編集

公立小・中学校および特別支援学校の教員を目指す方へ、千葉県総合教育センターより「ちば！教職たまごプロジェクト」の案内が届きました。

記事内容省略

【掲載日】 2024/11/12